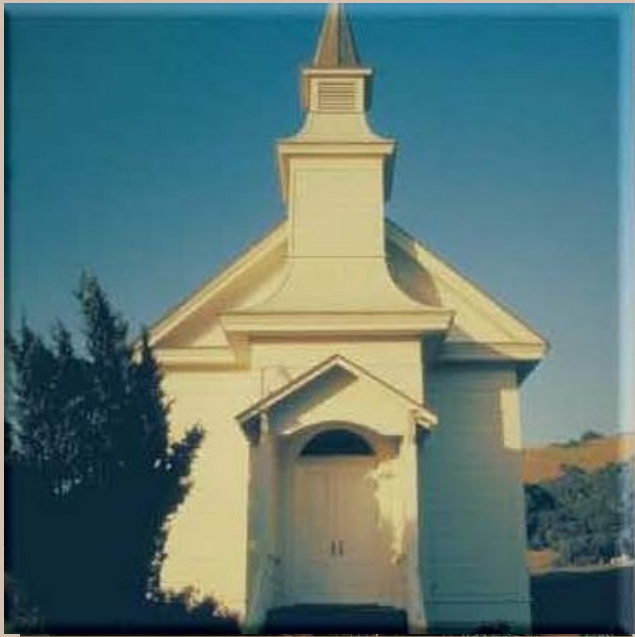


教会



I

6

教会



—第1回—



國際聖書通信學院

THE CHURCH

BY

DONALD DEAN SMEETON

INTERNATIONAL CORRESPONDENCE INSTITUTE

CHAUSSÉE DE WATERLOO, 45

1640 RHODE-SAINTE-GENÈSE

(BRUSSELS) BELGIUM

ALL RIGHTS RESERVED

D / 1986 / 2145 / 23

目 次

第1回分

はじめに.....	4
第1課 教会のための神の計画.....	8
第2課 教会の歴史.....	22
第3課 教会とは何か.....	38
第4課 どのようにして神の教会に 属することができるか.....	50

はじめに

著者からひとこと

教会はどこから来て、どのようにして始まったのだろうか。将来、教会に何が起こるだろうかなどと思ったことはありませんか。この本の各課目の表題を読んで下さるなら、各課目が教会に関して、いかに重大な質問に答えているかが理解していただけることでしょう。

私はあなたが、これらの質問に対して答えるのをお助けしたいと思います。まだ、お目にかかっていませんが、私はあなたの教師である以上に、あなたの友人になりたいと願っています。私たちが共に、聖書には教会について何と記されているかを学ぶなら、教会における私たちの位置の理解を、更に深めることになるでしょう。教会に関して多くの異なる考え方があります。それらのいくつかは正しいものですが、その他のものは誤っています。これら誤った考え方について聖書は何と言っているかを学びましょう。

この課程は単に教会に関して教えるだけではなく、あなたが学んだことを実行すれば、キリストと教会のために有能な存在となるこ

とでしょう。現代的独習法は原理をたやすく覚えられ、すぐにでも実行に移すことができるよう、あなたをお助けします。あなたが本書を学ばれるとき、聖霊の語りかけがあるようにお祈りいたします。

テキストの著者紹介

ドナルド・D・スミートン師はベルギー、ブルッセル市のコンテネンタル聖書大学の専任講師です。師は1973年にアッセンブリー教団によって正教師として任命され、アメリカ合衆国で青年部牧師、ドイツでは青少年社会復帰施設ティーン・チャレンジの現地伝道師として活躍されました。

スミートン師は、ミズーリ州 スプリングフィールド市のセントラル聖書大学より、聖書学における文学士号を、スプリングフィールド市エバンジェル大学より、教育史の分野で理学士号を、ストラスブルグ大学新教神学部より修了証を、イリノイ州ディアフィールド市のトリニティ・エバンジェリカル神学校より教会史及び、キリスト教思想史において修士号を、それぞれ取得されました。

学習テキスト

本書『教会』はあなたが手軽に携帯し、時間のあるときにどこでも学習できる手頃なサイズのワークブックです。ですから毎日、この学習のために時間をさいて下さい。

各課目の初めの二頁は注意深く学んで下さい。そうすれば次の問

題に対しての準備ができます。次に各課目を、セクションごとに学び、その後に、「自習のために」のところで指示に従って下さい。もし、本書学習テキストに答えを書く余地がなければ、あとで課目を復習するときに参照できるよう一冊のノートに答えを書いて下さい。

また、あなたがこの学課をグループで学ばれるのなら、そのグループのリーダーの指示に従って下さい。

学習レポート問題集について

この学習課程には「学習レポート問題集」という分冊が付いています。各所定の課目を終えたら、解答用紙が二組入っていますのでそれぞれに記入して下さい。

あなたは、当国際聖書通信学院に解答用紙を郵送されるときは、用紙の指示に従って下さい。国際聖書通信学院の住所は、本書テキストの二頁か、あるいは学習レポート問題集の表紙に記されています。あなたの解答用紙が郵送されますと、きれいな修了証をお送りいたします。また、もしあなたがこの学習課程の他の学課を修了されて、すでに修了証を持っておられたらシールをお送りします。

「学びの目的」について

お気づきになられたと思いますが、各課目の始まりに「学びの目

的」があります。これは、あなたが学習の中から、何を期待すべきであるかを教えるために置かれています。「学びの目的」とは、目標または目的のようなものです。ですから「学びの目的」を覚えていると学習もよくできることでしょう。

さあ、あなたは第1課を始めるのに準備十分です。あなたの学習を神が祝福して下さるよう祈っています。

第 1 課

教会のための神の計画

イエスは言われました。「わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てます。ハデスの門もそれには打ち勝てません。」(マタイ16:18)。これはすばらしい約束です。このみことばは、教会に関していくつかの重大なことを、私たちに教えています。それらを取り上げてみると：

1. 教会はイエスの教会であること——「わたしの教会」
2. 教会に対してイエスは計画を持っておられること——「わたしは……建てます」
3. イエスの教会は決して負かされることはないこと——「ハデスの門もそれには打ち勝てません」

世界の初めから、神は教会についての計画を持っておられました。それは隠されていた計画でしたが、時が満ちると神はその計画を啓示されました。そしてまた神の計画は未来にも及んでいることを、私たちは学ぶでしょう。神は私たちのために偉大なことを用意されました。たとえ現在、私たちが問題の中に置かれていたとしても、信仰をもって未来に視線を向けることができます。



この課であなたが学ぶことは……

- 教会の始まり
- 教会の栄光ある未来
- 教会の現状
 - 教会の目的
 - 教会の苦難

この課を学び終えた結果は……

- 教会のための神の計画がいつ始められたか説明できる。
- 神の計画におけるイエスの役割を確認できる。
- 現代の諸問題に対して、神の永遠の計画を関連させることができる。

教会の始まり

学びの目的1 教会のための神の計画がどのように始まったかを学ぶ。

教会は一体どこから来たのでしょうか。もしかしたら、あなたの住んでいる地域に数世紀前から存在している教会か、あるいは、できて間もない教会かもしれません。それとも、あなたの地域のだれかが福音を語り始めたか、他の地域からキリストについて語るために、だれかが来たのかもかもしれません。

福音があなたの地域に語られる前、また福音についてだれも知らないずっと以前から——、神はすでに計画を持っておられました。神の計画は、あなたが生まれると同時に始まったのでもありません。また、イエスが死なれた十字架で始まった訳でもないのです。神の計画は、神がこの世を造られる以前からすでに始められていたのです。この計画に関して使徒パウロは、エペソの教会に次のように書いています。



「すなわち、神は私たちを世界の基の置かれる前からキリストのうちに選び、御前で聖く、傷のない者にしようとされました。神は、ただみこころのままに、私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ定めておられたのです。」 エペソ1：4—5

そして時が熟すと、イエスが来られました（ガラテヤ4：4 参照）。イエスは神についての真理と、多くの奇蹟を行なわれましたが、人々は彼を受け入れることを拒みました。人々はイエスを十字架につけましたが、神はイエスを死からよみがえらされました。

イエスはユダヤ人を対象に伝道を始められましたが、多くのユダヤ人たちはイエスを受け入れませんでした。しかし神は、その計画を着々と進めておられました。このことについてパウロは再び、次のようにエペソの教会の人々に説明しています。

「この奥義は、今は、御霊によって、キリストの聖なる使徒たちと預言者たちに啓示されていますが、前の時代には、今と同じようには人々に知らされていませんでした。その奥義とは、福音により、キリスト・イエスにあって、異邦人もまた共同の相続者となり、ともに一つのからだに連なり、ともに約束にあずかる者となるということです。」

エペソ3：5—6

すなわち教会とは、すべての国のキリストを信じる人々のことです。彼らは福音を通して神の教会の一部とされているのです。



自習のために

この自習のための質問等は、みなさんの学びの復習、または学んだことの実行に役立つものです。

1 下記の質問に対して正解と思われる個所を○で囲みなさい。

- 1) 神の計画はイエスが死んだ時から始められた。
- 2) 神の計画は人間が造られた時から始められた。
- 3) 創造の初めから神は教会についての計画を進めていた。

2 エペソ 3 : 5—6 を読んで、次の質問に答えなさい。

- 1) 神はどのようにその計画を啓示されましたか。

- 2) 神の計画とは何でしたか。

あなたの答えを、この課の終わりにある正解と照合して下さい。

教会の栄光ある未来

学びの目的 2 教会の未来について、神の計画がどのようにキリストと関わりがあるかを学ぶ。

神はキリストを通してその計画を進めておられました。人々のキリストに対する拒絶は、神の計画をさえぎることはできず、またキリストの死も神を止めることはできませんでした。神は確実にその計画を進められたのです。

そしてまた神は、未来に関しても計画をもっておられ、時が熟せば必ず、神の計画を成就なさいます。神は今日まで打ち負かされたことはありませんし、今後も絶対にあり得ません。聖書は、神が教会のためにたくわえておられることについて書かれています。イエスは死を前にして、次のように祈られました。

「父よ。お願いします。あなたがわたしに下さったものをわたしのいる所にわたしといっしょにおらせてください。あなたがわたしを世の始まる前から愛しておられたためにわたしに下さったわたしの栄光を、彼らが見るようになるためです。」

ヨハネ17:24

いつか——時が熟した時に——神はこの祈りに答えられます。いつの日か教会はイエスと共におり、そして私たちは彼の栄光を見るでしょう。天国がどのような所であるかだれも知りませんが、イエス・キリストと共にいるということは何とすばらしいことでしょう。

聖書には、このことがどのように起こるかをパウロが、テサロニケの教会の人々に次のように書き送っています。



「主は、号令と、御使いのかしらの声と、神のラッパの響きのうちに、ご自身天から下って来られます。それからキリストにある死者が、まず初めによみがえり、次に、生き残っている私たちが、たちまち彼らといっしょに雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。このようにして、私たちは、いつまでも主とともにいることになります。」

I テサロニケ 4：16—17

私たちは、このことがいつ起こるのか知りません。ごく近いうちに起こるかも知れません。神が最もよく時機をご存知です。



自習のために

3 次の各文の空白を、適切な言葉でうめて下さい。

- 1) 過去において神はその計画を成就されたので、____
においても私たちは神を信じることができます。
- 2) 天国において最も素晴らしいことは、私たちが____
と共にいることです。
- 3) 主が教会のために天から来られる時、どのような音が聞こえるでしょう。_____
- 4) 死んでいた信者たちも、生き残っている信者たちも共に____に会います。

4 ヨハネ17：24の祈りの中で、イエスは何を願ったのでしょうか。

- 1) 神が更に、私たちが愛して下さるように。
- 2) 天国で私たちが、イエスと共にいるように。

3) 父なる神が、イエスに教会を下さるように。

5 ヨハネの黙示録22：5を読んで、天国ではだれが君臨されるでしょうか。

- 1) 使いたち。
- 2) 父なる神と子なる神。
- 3) 教会または信者たち。

6 教会に関する神の未来の計画を説明して下さい。

答えを確認して下さい。

教会の現状

教会はすばらしい過去と、栄光ある未来を約束されていますが、現在はまだこの世に置かれているのです。私たちは、永遠、過去、未来に生きているのではなくて、現在は地上にあって生きているのです。私たちが学んできた真理は、現在に生きる私たちをどのように助けてくれるのでしょうか。

教会の目的

学びの目的 3 今日教会の目的を二つ学ぶ。

あとで私たちは教会の務めについて、更にくわしく学びますが、ここでは全体的な目的について学びましょう。パウロがエペソの教会に宛てた手紙の中で、次の個所を読んでみましょう。

「すべての聖徒たちのうちで一番小さな私に、この恵みが

与えられたのは、私がキリストの測りがたい富を異邦人に
 宣べ伝え、また、万物を創造された神の中に世々隠されてい
 た奥義を実行に移す務めが何であるかを明らかにするため
 にほかなりません。これは、今、天にある支配と権威とに対
 して、教会を通して、神の豊かな知恵が示されるためであっ
 て……。」 エペソ 3：9—10

10節の「天にある」の「天」は「霊的な争い場」を意味します。
 そして、「支配と権威」とは、「人々に悪を行なわさせる悪の霊」を
 意味します。神による教会の目的は、この世の悪の霊を打ち破るた
 めであるとパウロは語っているのです。

三章の後半を見てみましょう。教会の目的である、悪を打ち負か
 すために、私たちが神のみ前に祈りをもって、大胆に近づくことが
 できると聖書に記されています（エペソ 3：11—13）。また、この
 ことにより私たちは、神の力によって力強く立つことができます
 （エペソ 3：14—16）。そして最後に、私たちは愛をもって団結しな
 ければなりません（エペソ 3：17—19）。

教会の全体的な、第二の目的は、この三章の最後の数節に書いて
 あります。

「どうか、私たちのうちに働く力によって、私たちの願うところ、
 思うところのすべてを越えて豊かに施すことのできる方に、教会
 により、またキリスト・イエスにより、栄光が、世々にわたって、と
 こしえまでありますように。アーメン。」 エペソ 3：20—21



自習のために

7 もう一度、エペソ人への手紙三章を読んで、教会の二つの目的についてあなたの考えを述べて下さい。

8—10節 _____

20—21節 _____

答えを確認して下さい。

教会の苦難

学びの目的 4 なぜクリスチャンが苦しむことがあるのかを学ぶ。

クリスチャンは、キリストに対する信仰のゆえに時には苦しむことがあります。そしてまた、教会も痛手を受けるとこともあります。あなたは今までに、クリスチャンであるために冷遇されたことはありませんか。人々に傷つけられたり、誤解されたことはありませんか。信仰のゆえに世の人々は、クリスチャンと争うこともあります。これらのことを迫害といいます。

このような苦難には、理解しがたいものがあります。あなたは、「神が私のために、すばらしいことを計画されているなら、なぜ今、このような苦しみに会うのだろう」と問うことがあるでしょう。このような質問は決してやさしいものではありませんが、聖書には何と書かれているか見てみましょう。

1. ある一部の苦難は一般的なもので、クリスチャンでない人々

でも出会うものですから、私たちクリスチャンであっても同じような苦しみに会うことでしょう。しかし、「キリスト・イエスにあって敬虔に生きようと願う者はみな、迫害を受けます」(Ⅱテモテ3:12)とパウロは、若いテモテに言っています。すばらしいことは、私たちが苦難に会うときには、神は私たちと共におられ、私たちに力を与えて下さるということです。



2. 苦難は特権です。私たちクリスチャンは、キリストのために苦しむことは誇りであると知っています。迫害された者たちに神が特別な報いを用意されているので、苦難は特別なものとなるのです。パウロは、ピリピの教会へ次のように書き送っています。「あなたがたは、キリストのために、キリストを信じる信仰だけでなく、キリストのための苦しみをも賜わったのです」(ピリピ1:29)。

3. 苦難は一時的なものです。苦難は決していつまでも続きません。パウロは、ローマの教会の人々に次のように書きました。「今の時のいろいろの苦しみは、将来私たちに啓示されようとしている栄光に比べれば、取るに足りないものと私は考えます」(ローマ8:18)。

4. 苦難は報われます。私たちは苦しみに会うとき、未来に目を向けることができます。この地上に目を向けず、天国を見上げるのです。神は必ず私たちに報いて下さいます。「もし耐え忍んでいる

なら、彼とともに治めるようになる。もし彼を否んだなら、彼もまた私たちを否まれる」(Ⅱテモテ2:12)と聖書に書いてあります。神は私たちの人生を記録されています。

ここまで学んできて、神は教会のために多くのすばらしいことを計画されていることに気づかされます。私たちは、その大いなる未来の一部になることができるのですが、そのためには苦難の時にも神に忠実な者でなければなりません。「私がクリスチャンであるために、父親は私を受け入れてくれないのです」という方がおられるかも知れません。それは本当につらい事だと思いますが、それが一般的なことだということ覚えて下さい。そしてやがて、イエスが教会のために来られた時、多くの苦しみや痛みから解放され、霊的な聖徒たちと共に、喜び合える日が来るのです。



自習のために

- 8 神の永遠の計画を考慮するとき、教会に迫害の時があるのでしょうか。

答えを確認して下さい。

おめでとうございます！ これであなたは最初のレッスンを終了しました。私たちは数ページで、時の初めから天国における永遠に進みました。教会の起源と終わりについて学んだのです。次のレッスンでは教会の聖書的な定義について学びましょう。「私の教会を建てます」といわれたイエスの言葉は何を意味したのでしょうか。

正 解

学習問題の正解は番号順に記されていません。それは前もって次の問題の正解を見ないためです。必要な番号だけをさがして、次の正解を見ないようにして下さい。

8 あなたの答えに、次のポイントが含まれていますか。

◎苦難は一般的なことである。◎キリストのために苦しむのは特権である。◎報いを受けるために喜んで苦しみを耐える。

1 3) 創造の初めから神は教会についての計画を進めていた。

7 1) 悪に打ち勝つため。2) 神の栄光のため。

2 1) 御霊によって、キリストの使徒たち、預言者たちに。

2) ユダヤ人と異邦人が、一つの体となること。福音によってユダヤ人も異邦人も、キリストの祝福を受けられる。

6 キリストは教会のために、再び来られ、教会は永遠に彼と共におり支配する。

3 1) 未来。2) 主なるイエス・キリスト。

3) 号令、み使いのかしらの声、神のラッパの響き。

4) 主。

5 3) 教会または信者たち。

4 2) 天国で私たちが、イエスと共にいるように。

第 2 課

教会の歴史

第1課では、教会を永遠の観点から学びました。神ご自身が教会を計画され、最も適切な時期にその計画を啓示されました。現在、教会がかかえているさまざまな問題の中にも神は働いておられ、いつの日か必ず教会のための計画を成就なさいます。イエスが再び地上に来られ、天国で共に暮らすために教会を引き上げなさいます。

この課では、教会を地上の観点から学びます。イエスが、「わたしの教会を建てます」と言われたのは、この地上において建てることを意味していたのです。この課において、五旬節から現在までの教会に何が起きたのか簡単に学んでみたいと思います。

教会の歴史の中から多くの事柄を学び、教会がどのように成長したかを知ることは、胸おどらされることです。しかし、後で学ぶのですが、その成長の過程においては問題も多く、これらは現代の私たちに大きな教訓を与えてくれます。私にとって教会の歴史は非常に興味深いものですが、きっとあなたも同じであると思います。



この課であなたが学ぶことは……

教会の誕生

教会の公認

教会の被害

教会の改革

教会のリバイバル

この課を学び終えた結果は……

■ 教会の歴史をたどる。

- 教会内のいくつかの問題の原因を理解することができる。
- 教会の組織について定義することができる。

教会の誕生

学びの目的1 五旬節の日と、その後に何が起きたかを学ぶ。

五旬節はユダヤ人の大きな祭りで収穫期にあたりました。遠くに住んでいる人々も、エルサレムの都に集まってきました。イエスの復活後、弟子たちも五旬節の日にエルサレムに集まりましたが、驚くべきことが起こりました。私がここで話すよりも、あなたが次の聖句を読んで、一体何が起きたかを学んで下さい。



自習のために

1 次質問の答えを探しながら、使徒2:1-5を読みなさい。

1) いつ起きたか。

2) 家の中で起きた二つの不思議なことは何だったのか。

3) 弟子たちに何が起きたのか。

2 人々の反応はどうだったか。(使徒2:13)。

3 ペテロは罪に対する贖い主としてのイエス・キリストについて語りましたが、人々が神との正しい関係に入るために

何をしなければならないと言いましたか（使徒2：38）。

4 初代の信者たちが何をしたのか、正しいと思うものを○で囲みなさい。

- 1) 彼らは使徒たちから学んだ。
- 2) 彼らは共に祈った。
- 3) 彼らは共に交わりを持った。
- 4) 彼らは互いに口論をした。
- 5) 彼らは共に食事をした。

答えを確認して下さい。

教会の誕生はすばらしいものでした。多くの回心者が起こされ（使徒2：41）、教会は日ごとに成長しました（47節）。しかし、問題もすぐ出てきはじめました。神の敵である悪魔は、たちまち敵対してきたのです。使徒の働きは、これらの苦難の記録をいくつか記しています（4：23、5：17—18）。

人々は信徒たちに関して偽りを言ったり、ある人々は福音のメッセージの一部をすり替えてしまいました。当時、ユダヤ人を支配していたローマ政府は、クリスチャンは群を好ましく思いませんでした。ですからクリスチャンは悪しき市民として訴えられ、初代の信者たちへの迫害は激しいものでした。ある者は拷問を受け、多くの人人は殺されましたが、真理の炎は消されることはありませんでした。

信者たちは、生まれ故郷を離れ、それぞれバルチア、メソポタミア、エジプト、リビア、そしてローマにまで逃げのびていきました。そして彼らは至る所で、神のなされたみ業について語り続け、散らされた所において新しい信者の群を結成していったのです。



自習のために

- 5** 地図を見て下さい。矢印は初代の信者たちがどのように散らされていったかを示しています。迫害を受けながら初代教会には何が起きたのでしょうか。

教会の公認

学びの目的2 教会がなぜ組織づくりを始めたか学んでみよう。

使徒の働きの大筋は、福音がどのように宣べ伝えられていったかを私たちに語り、パウロとペテロの宣教活動について述べています。新約聖書の書簡のほとんどは、パウロが新しく建てられた教会に宛てて書いたものです。ローマ帝国では、余りにも多くの人々がクリスチャンとなり、皇帝みずからもクリスチャンになるというほ

どの勢いで広がっていきました。コンスタンチヌス皇帝はキリスト教を公認しました（西暦303年）。多くの人々が教会に加わりましたが、そのほとんどは周囲の人々が加入するからという興味本意のもので、ある一部の人々は、神をも知らずに加わるというほどでした。彼らはまるでクラブに加入するような軽い気持ちで教会に入会しましたが、真のクリスチャンにはなりません。正しい教会とは、キリストを心に受け入れた者たちによって形成されますので、このような人々の加入によって教会内は混乱を生じました。

しかし、このような混乱の中にも真実なクリスチャンによって守られた教会は常に存在し、急速に成長していくのです。

教会の成長にともない、人々が互いに活動しやすくするために、教会を組織化する必要が生じました。やがて、やもめたちには援助が必要となり執事を選出しました（使徒6：1—4）。その他の必要も教会にはあります。邪悪で真理を教えない人々から教会を守るための必要、また、大きな教会が小さな教会を援助する必要などです。このように教会が団結してお互いの活動を円滑にしていくためにも、教会は組織化されなければならなかったのです。



自習のために

6 次の文を読んで適切に完結する文を○で囲みなさい。

教会が組織化されるのは……………。

- 1) 皇帝がクリスチャンになったから。
- 2) 援助、保護、団結を円滑に進めるため。

3) 公認されるため。

教会の被害

学びの目的3 教会において起きた問題について説明する。

時がたつにつれ、クリスチャンの皇帝（支配者）たちは教会をも支配しようとして、教会を政治に巻き込みました。教会の指導者たちは監督と呼ばれていましたが、大きな都市で権力を争うようになり、教会の一部の人々は教会本来の目的を見失ってしまいました。


西暦500年頃、ローマ帝国は崩壊し、西暦1000年頃、東方の教会の信者と、西方の信者の間には何の交流もありませんでした。

やがて教会の内外に罪が生じてきたので、ある一部のクリスチャンたちは、この罪から離れるため既成の教会を離れました。彼らはこの世と肉的なクリスチャンから別離することにしたのです。そして修道院と呼ばれる特別な共同生活体に入ってしまった。修道院はたいがい、この世と離れるために、高い壁で囲まれていました。

クリスチャンにとって、修道院に入ることは良いことでしょうか。この問題は非常に難しいもので、修道院の生活には長所もありますが、反面、短所もあるのです。いくつかの修道院は学問の場でした。また、未開の地に最初に福音を伝えた修道院の人々もいます。西暦500年頃、彼らはヨーロッパに福音を伝え、イギリスには約700年頃、そしてスカンジナビア諸国には約1000年頃に福音を伝えているのです。



しかし、修道院にも問題が起きました。修道院の壁は厚く閉ざされていて、内部と外部との人々の間が断絶されているということです。このような断絶は、世の人々を助けることは不可能です。また修道院の人々は、他人の問題よりも、自分自身の魂にあまりにも関心を払ってしまい、そして多くの場合、罪の生じる結果ともなってしまうました。その厚い壁も罪を防ぐことはできませんでした。



自習のために

- 7** 教会になぜ問題が起きたのか。その的確な説明の答えを○で囲みなさい。
- 1) 教会があまりにも大きくなり過ぎたため。
 - 2) 人々が教会に行くのをやめたため。
 - 3) 教会は人々の魂の必要を満たすことを忘れてしまったため。

4) クリスチャンがこの世の人々との生活を願ったため。

教会の改革

学びの目的4 ルターによって回復された三つの聖書の教義を学ぶ。

時がたつにつれて、多くの間違いが教会内に起こりました。異教の儀式が聖霊の自由にとって代わり、異なる宗教が少し変えられて、あたかもそれがキリスト教であるかのように現われてきました。組織としての教会の会員制度が、霊的な生活よりも重要視されてきたのです。洗礼を受けた人々が、救われる以前からの異教の生活をしていても、クリスチャンと認められていました。良識ある人々が、聖書の真理に教会を戻そうとしても、受け入れられませんでした。神がリバイバルを起こされたのですが、しばしばその指導者たちは死刑にあたり、犠牲となりました。

教義の変化

西暦1500年代の初めに霊的变化が起こり始めました。それは修道僧の中の一人、マルチン・ルターによってでした。彼は神を求め見いだすために教会制度に従いました。この世から離れ、断食し、自分の肉体を打ちたたき苦業を行なっても、神を見いだすことはできませんでした。数年後、彼は聖書を学び始め、そしてその中に答えを見いだしたのです。「義人は信仰によって生きる」(ローマ1:17)。信仰によってマルチン・ルターは、神と正しい関係に入り、彼に従った人々はプロテスタント教徒と呼ばれるようになりました。

彼らの教義は次のようなもので、「聖書だけによる」「信仰だけによる」「神の恵みだけによる」というものです。「聖書だけによる」とは教会の慣習ではなく、聖書のみがクリスチャンの基本となるということで、「信仰だけによる」とは、人は信仰によってのみ神との正しい関係に入ること、どんな善行も、苦行も神の恩恵を得ることはできないということ、そして「恵みだけによる」とは、キリストが十字架で死なれたのは、神の一方的な恵みによるものであること、それによって神との関係を得るという信条でした。神は神を信じる者に、この恵みを惜しみなく与えて下さるのです。



自習のために

8 なぜリバイバルは必要だったのでしょうか。

9 マルチン・ルターによって回復された聖書の教義を述べよ。

- 1) _____
- 2) _____
- 3) _____

組織の変化

学びの目的5 教会組織のいくつかを学ぶ。

ルターは、教義上、聖書の教えに戻るよう努力しましたが、実際の面でも聖書の教えに忠実に従うよう指示しました。異教の習慣や儀式は除かれ、偶像は教会から取り去られました。修道院の男女は世の中で働くために派遣され、プロテスタント教徒（新教徒）は、聖書に根拠のない事柄は一切拒否しました。西側の教会（ローマ・カトリック）の指導者はこの運動に反対しましたが、ルターは、「私たちは人に従うより、神に従わなければならない」と言って受け入れませんでした。

やがて、プロテスタント教徒の中にも、その働きの組織化の必要を感じてきました。各国それぞれの習慣、物の考え方の違いにより種々な型の組織、団体が生まれました。一部の信者たちは、彼らがかつて行なっていたような組織づくりを願いました。それは、中心的な指導者を立て、その者が地域のリーダーに指示し、そしてまたその他の人々に命令を与えるという方式です。この種の組織は強力な中央集権体制を特徴とします。

カルビンがプロテスタント教徒を指導していたスイスでは、違った形式の組織づくりが発展しました。スイスには古くから、市民が指導者を選ぶという強い伝統がありました。カルビンの教会の組織化も、教会の人々がまず指導者を選び、そして各指導者が地域や全国の指導者を選ぶという方式でした。このような組織は地方分権主義を特徴としており、地域、地方の指導者に権力がありました。

ヨーロッパの他の国々では、また異なった形式の組織化が進み、これらの国々の信者たちは、地方及び地域以上の指導・権力を願わ

ず、全国的な指導者も、また王権との関わりも望みませんでした。この種の組織は、個々の教会に権力のあるのが特徴です。

これらの形式を持った、それぞれの組織、団体は聖書にその根拠を求め、それぞれに見いだしていったのです。

しかし、新約聖書には、教会がどのような形式の組織を持つべきかは明確には記されていません。その群の必要を満たすことが組織化の目的です。ある信者が、自分は霊的なので特定な形式の組織をつくりたい、と願うのは間違っています。これはコリントの教会ですでに起きていました（Iコリント1：12）。コリントの教会の信者たちは、教会の組織化で最も大切なことは、調和と愛であることを学びました。



自習のために

10 次の文を読み、正しいと思う文を○で囲みなさい。

- 1) 成長する教会は組織を必要とする。
- 2) 種々な形式のよい組織がある。
- 3) 組織は人々の心要を満たすものである。
- 4) 調和と愛が組織の形式より重要である。

11 新約聖書はある特定の教会組織、統治を教えているか。

あなたの住んでいる地域に対し、教会はどのような体制をとっているかを調べてみて下さい。地域のニーズにこたえようと、仕えているでしょうか。あなたの教会の働きを助けて下さい。

教会のリバイバル

マルチン・ルターによる宗教改革の時から、リバイバルが教会に臨みました。神はリバイバルを通して、まだ教えられていなかった聖書の真理を教えられました。それらすべてのリバイバルについて記すスペースがありませんので、二つだけを選んで、学んでみましょう。

福音主義運動

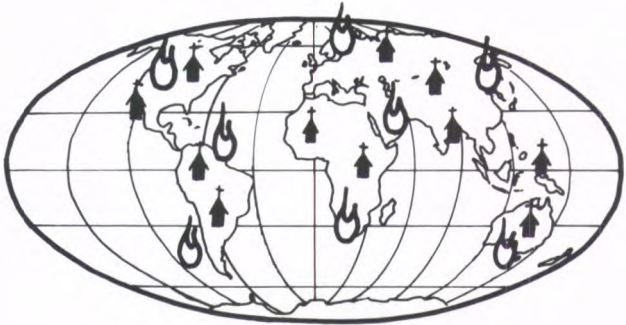
学びの目的6 リバイバルがなぜ必要とされるかを学ぶ。

教会に多くの問題があり、道徳的にも非常に低迷していた時、神は一人の器を起こされました。その人物は、ジョン・ウェスレーです。当時のイギリスでは、ほとんどの人々がクリスチャンであると自称し、教会の会員権を持っていましたが、本当のクリスチャンではありませんでした。ウェスレーは、このような人々が真実に神にお会いするという体験を持つべきであると説教し、建物のない所では野外において集会を開き、社会のあらゆる階級の人々に福音を伝えました。そして彼はイギリス全土を馬に乗って巡回し、説教以外の福音伝道でも積極的に行動しました。文筆活動、教育事業、社会事業にも携わり、イギリスに精神的・霊的な変革をもたらし、犯罪は減少し、一部の地域では飲酒問題も減り、家庭が保護され強化されました。



自習のために

12 なぜウェスレーの時代にリバイバルが必要だったか説明しなさい。



あなたの地域社会の霊的必要について考えてみて下さい。そしてあなたの教会はリバイバルを必要としていませんか。神がジョン・ウェスレーのようなクリスチャンを、あなたの地域に起こして下さいるように祈って下さい。

ペンテコステ運動

学びの目的7 ペンテコステ運動とは何かを学ぶ。

19世紀には福音を伝えるため教会は、多くの人を宣教師として新しい地域に派遣しました。アメリカ及びヨーロッパの宣教師たちは、アフリカ、アジア、その他の大陸に新しい教会を建設しました。

20世紀の初め、神は教会に聖霊を注がれ、世界中の多くの教会に聖霊の注ぎが同時に起こりました。五旬節のときに最初の弟子、使徒たちが経験したと同じ体験をしたのです。彼らは御霊の賜物と証しする力を授けられたのです。この聖霊の動き、運動はペンテコステ（五旬節）運動と呼ばれています。現在、この運動は世界中に広まり、1950年頃から、あらゆる教派の信者の集まりにおいて経験されるようになりました。私は、この聖霊の働きは教会をキリストの再臨に備えるための助けとして与えられている、と信じています。



自習のために

13 ペンテコステ運動とはどのような霊的体験のものですか。

答えを確認して下さい。

この簡単な教会の歴史が、みなさんの学びに役立つことを祈っております。教会の歴史は、時には悲しいものですし、神に栄光を帰さないこともありました。私たちはそのような過去から学び、再び同じ間違いを犯さないように努力しなければなりません。また私たちは、他の教派や、集まりに対しても理解を示さなければなりません。組織は違っても、私たちは共にキリストに属しているからです。

単に教会の歴史からでなく、聖書からクリスチャンにとっての正しい導びきを学ぶことができます。次の課では、教会に関して聖書には何と書かれているかを学びます。この学びを始める前に、私たちが、自分の地域社会において神が用いて下さるよう祈りましょう。



正 解

- 13 聖霊によって満たされること。
- 1) 五旬節の日
 - 2) 激しい風が吹いてくる響き、炎のような分かれた舌
 - 3) 聖霊に満たされ、他国の言葉で話した。
- 12 教会には会員はいたが真のクリスチャンは少なく、道徳も低かった。
- 2 ある人々は使徒たちをあざけた。
- 11 否、聖書は異なった形式の組織、統治を認めている。
- 3 罪を悔い改め、バプテスマを受ける。
- 10 全文ともに正解。
- 4) 1) 彼らは使徒たちから学んだ。
 - 2) 彼らは共に祈った。
 - 3) 彼らは共に交わりを持った。
 - 4) 彼らは共に食事をした。
- 9 信仰だけによる。聖書だけによる。恵みだけによる。
- 5 成長した。
- 8 教義と行ないに多くの間違いがあったため。
- 6) 2) 援助、保護、団結を円滑に進めるため。
 - 7) 3) 教会は人々の魂の必要を満たすことを忘れてしまったため。

第 3 課

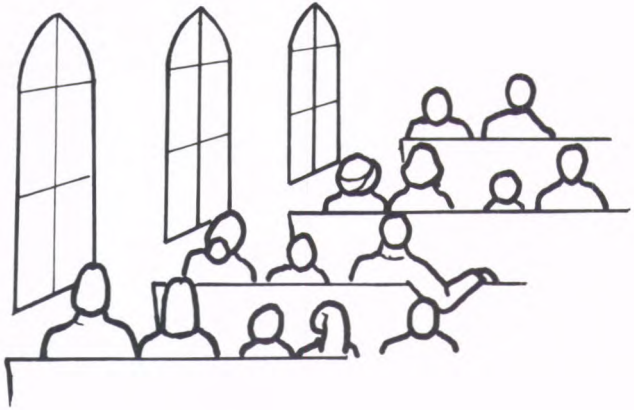
教会とは何か

イエスは「わたしは、わたしの教会を建てます」(マタイ16:18)と言われましたが、彼にとって教会とは何を意味したのでしょうか。また、弟子たちは教会という言葉をもどのように理解していたのでしょうか。

みなさんはすでにお気づきのことと思いますが、本課の学びの中で教会という言葉は何度も出てきましたが、その使われ方は異なっていました。第1課では「神の人々、民」として使い、第2課では有形の組織として使いましたが、両方ともにその使い方は正解です。

日常生活の会話の中で、何回も聖書の言葉を使いますが、このように言葉を使っているにもかかわらず、その聖書的な意味を知らない場合があります。言葉の意味は、前後関係の文脈によって定義されることが多く、また背景によっても定義されます。聖書の中で教会という言葉の前後関係の文脈によって、何を意味しているかを知ることは大切なことです。

この課では、聖書を開いて数多くのみことばによって学んでいき



たいと思います。前の課では、今日私たちが手にしている聖書が、どのような尊い犠牲が払われて手元にあるかは書きませんでした。私が住んでいる町からさほど遠くない所に、一つの記念碑が建てられています。それはある人が、自分の民族の言葉に聖書を翻訳することを願ったために処刑された場所なのです。このような数多くの犠牲によって、神はみことばを今日まで守り続けられたのです。

この課であなたが学ぶことは……

教会という言葉の意味

教会の本質

教会の諸関係

この課を学び終えた結果は……

- 教会という言葉の聖書的な意味と理解。
- 聖なる合同の教会と各地域の群との関係。
- 教会の超自然的な本質の理解。

教会という言葉の意味

学びの目的1 ギリシャ語、ユダヤ人、キリスト教のそれぞれの思想背景における教会という言葉进行定義する。

新約聖書の原語はギリシャ語でした。パウロが諸教会に書いた手紙はギリシャ語で書かれてましたが、その時点で教会という言葉は何を意味したのでしょうか。当時、教会は「集会」を意味し、特にパウロの時代では教会という言葉は、二つの短い語句から成り立つ複合語であり、「呼び出された」を意味しています。新約聖書時代、この言葉は呼び出された市民の集まりを意味し、政治、軍事問題を討議するために呼び出されたのです。また、この言葉は戦うために召集を受けた軍隊をも意味しましたし、法律の制定に携わる人々をも意味しました。今日、教会という言葉は非常に宗教的色彩の濃いものですが、当時はそのような宗教的な意味は全くありませんでした。



自習のために

- 1 パウロのエペソ訪問の個所（使徒19：23—41）を読みなさい。32、39、41節に「集まり」を表わす言葉が記されているが、それを書きなさい。

1) 32節 _____ 2) 39節 _____ 3) 41節 _____

2 次の定義のうち、どれがギリシャ語の集会という言葉に当てはまらないか○で囲みなさい。

- 1) 政治的な集い。 2) 召集された軍隊。
3) 宗教的な集い。 4) 市民の集い。

すでにご存知のように、聖書は旧約聖書と新約聖書という二つの部分に分かれています。旧約聖書においてはユダヤ人は神の民と呼ばれ、アブラハムやダビデのように、ほとんどのユダヤ人は神を信じて従っていました。旧約聖書には彼らの生涯の記録が記載されており、それによって私たちは学ぶことができます。

しかし、イエスの時代には、ユダヤ人の多くは神に従いませんでした。彼らは神のことばを学ぶこともしないで、そのために旧約聖書の特別版が作成されました。この特別版には教会、または集会という言葉が約100回使われており、その用途も一般の集まりを意味したり、時には宗教的集まりに使われたりしています。しかし、クリスチャンが教会という意味でこの言葉を使用し始めると、ユダヤ人たちはこの言葉を使うことをやめました。以後、クリスチャンの集まりは教会、ユダヤ人の集まりは会堂と呼ぶようになりました。



イエスを信じたユダヤ人たちは、しばしば会堂から追い出されてしまいました（ヨハネ9：22参照）。



自習のために

- 3** ユダヤ人たちは教会という言葉、次のどの集会を意味するために使ったか。
- 1) 宗教的集会。2) 一般の集会。3) 一般及び宗教的集会。
- 4** 教会という言葉は、使徒7：38において使われています。クリスチャンになったユダヤ人、ステパノはこの言葉を使っていますが、だれがこの集会にはいたのでしょうか。使徒7：38を読んで答えを書きなさい。

教会という言葉は、新約聖書に100回以上も使われており、ほとんどの書に見ることができます。クリスチャンたちが、それらの集まりを「教会」「集会」と呼んだとき、それは政治、軍事的な意味を持っていませんでした。初代教会のクリスチャンたちはユダヤ人でしたが、ユダヤ人の集まりである「会堂」をも意味はしていません。クリスチャンにとって、「教会」とは神によって呼び出された者たちを意味し、イエス・キリストに対する信仰によって救われた人々の交わりを指していました。クリスチャンのこれらの用法については、後でくわしく学んでいきます。



自習のために

5 クリスチャンにとって教会という言葉は何を意味したか。

教会の本質

学びの目的2 名地域の群と、聖なる合同の教会を結びつける。

教会という言葉は、キリストを信じる人々の地域的な集まりでした。新約聖書には、しばしばある特定の教会を指しています。「テサロニケ人の教会」というパウロの挨拶にも見られ（Iテサロニケ1：1）、また、ある地域の数多くの集まりに向けての場合もありました。ガラテヤ1：22の「ユダヤの諸教会」宛てのようになります。

また時には、教会という言葉は、更に大きく合同の教会を表わし



ています。それは集会という単なる集まりではなく、それらに属する人々全体を指していたのです。マタイ16：18でイエスは世界中に、

合同の教会、キリストを信じる者たちの集合体を建設することを述べておられます。

このことによっても、教会が単に一国民によって成立しているのではなく、全ての国民によって保たれていくことがわかります。決して特定の民族によって行政されてはならないのです。

「ユダヤ人もギリシヤ人もなく、奴隷も自由人もなく、男子も女子もありません。なぜなら、あなたがたはみな、キリスト・イエスにあって一つだからです」(ガラテヤ3:28)。



自習のために

6 聖書の次の個所を読んで、それがあある特定の地域の教会を指しているのか、または聖なる合同の教会を意味するのか判断して下さい。

1) Iコリント4:17。 2) IIテサロニケ1:1。

3) コロサイ1:18。 4) エペソ3:8—10。

5) エペソ3:20—21。 6) IIコリント11:8。

7 特定の地域の教会は、聖なる合同の教会にどのように関連しているのでしょうか。

教会の諸関係

学びの目的3 三位一体の神(父なる神、子なる神、聖霊なる神)のそれぞれの人格について、教会との関係を学ぶ。

すでに学んだように、聖書時代には教会という言葉は宗教的な言葉ではなかったのですが、信者たちは当時、どのように教会を考えていたのでしょうか。

初代教会のクリスチャンたちは、教会を彼らの言語で〈エクレシヤ〉と呼び、神の会衆、会合を表わしていました。ですからパウロは、「父なる神および主イエス・キリストにあるテサロニケ人の教会へ」（Ⅰテサロニケ1：1）と書き、同じようにコリントの教会にも書いています。「コリントにある神の教会へ。すなわち、私たちの主イエス・キリストの御名を、至る所で呼び求めているすべての人々とともに、聖徒として召され、キリスト・イエスにあって聖なるものとされた方々へ。主は私たちの主であるとともに、そのすべての人々の主です」（Ⅰコリント1：2）。



自習のために

8 次の聖書の個所は、教会がだれに属すると言っているでしょうか。各個所の教会に関する記述を書いて下さい。

1) Ⅱテサロニケ1：1

2) ガラテヤ1：13

3) Ⅰコリント11：16

教会は神によって呼び起こされ、イエス・キリストとの交わりへと召されています。コリントの教会にパウロは、「神は真実であり、その方のお召しによって、あなたがたは神の御子、私たちの主イエス・キリストとの交わりに入れられました」（Ⅰコリント 1：9）と書いています。時折、教会は「キリストの教会」として呼ばれています（ローマ 16：16 参照）。イエスは「わたしは、わたしの教会を建てます」（マタイ 16：18）と言われ、パウロもキリストについて「ご自身がそのからだの救い主であられるように」（エペソ 5：23）と言っています。からだは教会を意味します。そして更につけ加えて、彼は「キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように」（エペソ 5：25）と言っています。

信者たちは「キリストとともにある者」と呼ばれています。それは、クリスチャンがキリストの死に、ともにあずかり（ローマ 6：6）、キリストとともに苦難を受けるからです（ローマ 8：17、Ⅱテモテ 2：12）。



自習のために

9 もう一度、ローマ 8：17とⅡテモテ 2：12を読んで、キリストと共に苦しみにあずかる者に、何が約束されているかを記して下さい。

10 次の質問に答えて下さい。

- 1) だれが教会を呼び起こすのか。 _____
- 2) 信者たちは _____ と共にある。

聖霊は教会に超自然的（霊的）な本質を与えます。聖霊に支持されているので教会は、他の人間の集まりとは異なっています。聖霊が臨在する所のみ教会は存在するのです。教会の力、命は人間的なものではなく、霊的なものなのです。



自習のために

11 次の聖書の個所を学んで、聖霊が教会に対してどのような働きをなさるかを書いて下さい。

- 1) ピリピ 2 : 1 _____
- 2) 使徒の働き 1 : 8 _____
- 3) I コリント 12 : 8—12 _____
- 4) エペソ 4 : 3—4 _____

あなたの答えを確認して下さい。



神の教会に私たちが参加できることを、神に感謝しなければいけません。神によって教会は呼び起こされ、キリストと共にあり、聖霊によって満たされているのです。神の教会は、それぞれ地域社会のものであり、また全世界の聖なる公同のものなのです。ですから全世界の信者たちは、キリストを深く愛するのです。「そしてすべての者が一つの御霊を飲む者とされたからです」(Iコリント12:13)。

教会とは一体、何なのでしょう。それは信者たちの超自然的な交わりなのです。神は初めからこのように計画され、新約時代に表わされてきたのです。そして教会は、あなたの地域、あなたの国における神の証しなのです。

正 解

- 11 1) 聖霊は交わりを与える。
 2) 聖霊は証しする力を与える。
 3) 聖霊は霊の賜物を与える。
 4) 聖霊は一致をもたらす。
- 1 1) 集会。 2) 議会。 3) 集まり。
- 10 1) 父なる神。2) キリスト。
 2 3) 宗教的な集い。
- 9 相続人としてキリストと共に治める。
- 3 3) 一般および宗教的集会。
- 8 1) 父なる神および主イエス・キリストにある教会。
 2) 神の教会。
 3) 神の諸教会。
- 4 イスラエルの人々。
- 7 特定の教会を形成する信者たちは、キリストの体、すなわち
 公同の教会の一部である。
- 5 信者の交わり。
- 6 1) 地域の教会 (すべての教会)
 2) 地域の教会 (テサロニケにある教会の人々へ)
 3) 聖なる公同の教会(キリストがからだなる教会のかしら)
 4) 聖なる公同の教会 (教会を用いて)
 5) 聖なる公同の教会 (教会に栄光がある)
 6) 地域の教会 (他の教会によってささげられた)

第 4 課

どのようにして 神の教会に属することが できるか

これまで私たちは、教会の過去について学んできました。神がどのようにして計画を実行してこられたか、そして教会という言葉が何を意味するのかを学びました。これからは、現在について学びたいと思います。私たちは過去に住んでいるのではなく、また観念の世界に住んでいるのでもありません。今、今日、という時に住んでいるのです。

過去における教会という言葉は、現代における私たちに何を意味しているのでしょうか。この課では、教会とあなたに関することを学びたいと思いますので、非常に個人的に興味ある学びになると思います。多くの人がこの課に示されている真理を理解できないために問題を感じています。また、教会も同じように困難に直面しています。ですから注意深くこの課を勉強して下さい。

私たちはお互いに出会ったことはありませんが、主イエス・キリストを救い主として受け入れているならば、私たちは共にキリストにある教会の会員なのです。そして、やがて神の恵みにより天国に



において互いに会い、共に住むことでしょう。天国においては、キリストにある神の恵みのゆえに神を賛美することでしょう。その時こそ、私たちは教会の本質を完全に理解するのです。

この課であなたが学ぶことは……

人間の責任

救いにおける神の働き

神の民としての呼び名

この課を学び終えた結果は……

- 神の教会に属するため、人が果たすべき三つの責任。
- 人々が教会に属するにあたり、神のなさる働き。
- 信者の聖書的な呼び名を正確に使う。

人間の責任

学びの目的1 「悔い改め」「回心」「信仰」についての聖書的見解を学ぶ。

悔い改め

ここまでに、神が教会のためになさったすばらしいみ業について学んできました。神のすばらしいみ業に取り残されてしまわないように、神の教会にしっかりと所属するためには、私たちは一体、何をしなければならないのでしょうか。

まず第一に、聖書は、私たちが悔い改めなければならないと言っています。悔い改めるといえるのは、私たちの心、考え方及び態度を方向転換する、という意味です。悔い改めの時点で、人はその過去



を振り返り、犯した罪や失敗に対して悲しみを覚え、そして改めることを決意するのです。また悔い改めとは、その人の生活を自己中心から、神中心に切り変えることなのです。パウロはこのことを次のように述べています。「しかし、私にとって得であったこのようなものをみな、私はキリストのゆえに、損と思うようになりました」(ピリピ3：7)。イエスのたとえ話の中に、父親のもとを離れ、その財産をすっかり使い果たしてしまった青年の話があります。のちに彼は悔い改めて、父親のもとに帰りました。彼は自分のしたことへに悲しみ、むなしさを覚え、生き方を変える決心をしたのです。これこそ真の悔い改めです(ルカ15：11—32)。



自習のために

1 次の聖書の個所を読んで、その主題を書きなさい。

1) マタイ3：2 _____

2) マタイ4：17 _____

3) 使徒2：38 _____

2 悔い改めという言葉を、あなたの考えで定義して下さい。



回心

回心という言葉は、新約聖書には約40回使われており、「向きを変える」ことを意味します。使徒の働きでは、何回も使われており「主に」とか、「神に」という言葉とともに用いられています（使徒 9：35。11：21。15：19）。すなわち、人間が古いものから向きを変え（悔い改め）新しいものへ向かう（回心）ことをいいます。そしてまた、自己を神に明け渡すことなのです。

この向きを変えることは、あるものから、あるものに向けて、の両方を含みます。テサロニケの教会にパウロは、この事に関して次のように書き送っています。「私たちがどのようにあなたがたに受け入れられたか、また、あなたがたがどのように偶像から神に立ち返って、生けるまことの神に仕えるように」なったか（Ⅰテサロニケ 1：9）。



自習のために

3 次の質問に答えて下さい。

1) 回心とは何を意味するか。

2) 人間は何から向きを変えなければならないのか。

3) 人間は何に向けて変わるのか、何に仕えなければならないのか

信頼

信じるということは、信頼を置く、期待することを意味します。聖書には次のように書いてあります。「彼（アブラハム）は主を信じた。主はそれを彼の義と認められた」（創世15：6）。新約聖書では、この言葉に付け加えて、「聖書は、神が異邦人をその信仰によって義と認めてくださる」と明言しています。信仰と信頼とは意味が非常に近いのです。



キリストを信頼するということは、彼に出会う、彼を愛する、彼に信頼を置くことが含まれています。それはまた、彼に従い、忠実に仕えることも意味します。信仰は非活動的ではなく、積極的に神に信頼することです。私たちの信仰は、私たちの行動によって表わされます。



自習のために

4 ピリピの牢の看守は、パウロとシラスに「先生がた。救

われるためには、何をしなければなりませんか」と聞きました。この問いに答えて下さい。それから使徒16：30—31を読んで解答を見つけて下さい。

5 信頼という言葉を、あなたの考えで定義して下さい。

このように悔い改め、回心、信頼は密接に関連しています。一つと同じ体験の三部分なのです。あなたはすでに悔い改め、回心し、イエス・キリストを救い主として信じておられますか。もし、そうでなければ、今、信仰を持ってイエス・キリストを受け入れて下さい。それが神の教会に属する唯一の方法です。

救いにおける神の働き

これまでは、人間側の働きについて学びましたが、それも神の助けなしでは、人もその分を果たすことはできません。神が人々を教会に加えられることを、ルカは次のように書いています。「主も毎日救われる人々を仲間に加えてくださった」（使徒2：47）。



新生

学びの目的2 人生において新生を体験する時、その人に何が起
こるかを学ぶ。

物理的な自然の出生によっては、人はクリスチャンにはなれません。「新生」する以外にはあり得ません。イエスはニコデモとの話し合いの中で、新生の必要性を明確にされました(ヨハネ3:3-7)。イエスはここで「肉によって生まれた者は肉です。御霊によって生まれた者は霊です」(ヨハネ3:6)とっておられます。パウロも「血肉のからだは神の国を相続できません」(Iコリント15:50)と言いました。

神は私たちが新生を体験することを願っておられ、あなたが新しい出発をするのを望んでおられるのです。聖書ではこのことを再生とも言っています。あなたが人間として家庭に生まれたように、霊的に神の家族の一員として生まれなければならないのです。



自習のために

6 新しく生まれ変わる時、その人の人生に何が起こりますか。

新しい性質

学びの目的3 新しい性質とは何かを定義する。

私たちはみな、ある性質を持って生まれてきました。同じように、新生を体験する時にも、新しい性質を持つのです。それは神の性質を受けることです。ペテロは新生した者について「神のご性質にあずかる者となるためです」（Ⅱペテロ1：4）と言っています。

パウロは同じことに関して、「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました」（Ⅱコリント5：17）と言っています。新生には、二つの証しがあると聖書は教えています。第一は、御霊が私たちの心に証しすることです（ローマ8：16）。第二は、クリスチャン生活における義の実を結ぶことです。御霊によって生まれた者は御霊の実を結ぶのです（御霊の実の種類に関しては、ガラテヤ5：22—23を参照）。



自習のために

7 マタイ12：33—35を読んで新しい性質について説明しなさい。

8 あなたの人生、生活を吟味し、次の質問に答えて下さい。

1) あなたは御霊の証しを心に持っていますか。

はい。

いいえ。

2) あなたの生活の中に、人々は御霊の実を認められますか。

はい。

いいえ。

もしもあなたの答えが、いいえ であれば、確実に回心しているか、罪から解放されているか、神に全き信頼をおいているかを、も

う一度、あなたの心に問うて下さい。

神の民としての呼び名

学びの目的4 神の民としての聖書的な呼び名について定義する。

多くの人が、自分自身をクリスチャンと呼んでいます。一部の人は、今まで学んだような霊的な体験は持っていないのです。彼らは教会には属しているかもしれませんが、真のクリスチャンではなく、まことの教会の会員でもありません。彼らは未回心者、未信者と呼ばれるのです。

この地上の教会に関係している未回心者、未信者の人々は、聖書的な神の民としての呼び名のどれにも当てはまりません。本書では四つの呼び名について学びますが、実際にはもっと多くあります。

弟子たち

使徒の働きでは、信者たちは弟子と呼ばれています（使徒6：2。9：1。11：26。14：21—22。18：27。19：9参照）。イエスもご自分に従って来た者たちを弟子と呼ばれました。弟子とは学習者です。学習者は、その教師の教えを受け入れ、それに従います。福音書において、弟子たちは教師である主に近く仕えました。彼らはイエス・キリストにのみ仕えたのです。

未信者の人々は、キリストに従うことができませんので、彼らを弟子とは呼べないのです。彼らはまた本当の意味でのクリスチャンでもありませんから、クリスチャンとも呼ばれません。

聖徒

新約聖書は、しばしば教会の会員を聖徒と呼んでいます（使徒9：13、41。Ⅱコリント1：1。13：12。エペソ4：12。コロサイ1：12参照）。聖徒は、地上、天国の両方に存在することに注意して下さい。

聖徒とは、神のために選び分けられた者ですから、未信者は聖徒ではありません。また未信者は、神の教会に属さず、神によって選び分けられた人々でもありません。



兄弟

新約聖書で最も使われた呼び名は兄弟です。教会内での信者の関係をよく表わしています。教会は神の家族であり、新生によって信者は、その家族の中に生まれたのです。また信者は、キリストの兄弟でもあるのです（ローマ8：29。ヘブル2：11—12、17）。

未信者は、キリストの兄弟でもなく神の教会の一部でもないのです。

クリスチャン

今まで学んできたように、信者は初めからクリスチャンとは呼ばれていませんでした。弟子、聖徒、兄弟と呼ばれていましたが、周囲の人々が信者を嘲笑するために使った言葉がクリスチャンという言葉でした。クリスチャンとは、キリストに属する者、キリストに似る者を意味しています（使徒11：26。26：28。Ⅰペテロ4：16）。クリスチャンという呼び名は、新生を体験し、キリストの性質を持っている者だけに使うべきでしょう。

初代教会の信者たちは、さまざまな呼び名で呼ばれていましたが、どの呼び名も教会内で新生を体験した者だけに使われるべきです。たとえ表面的には教会の組織に属していたとしても、新生されていなければ、どの呼び名もあてはまらないのです。



自習のために

9 信者を形容する聖書的呼び名を四つ書いて下さい。

10 各々の質問に当てはまる正確な呼び名を書いて下さい。

1) 教師の近くで学習する者という呼び名。

2) キリストのように行動したので、それを嘲笑して使った呼び名。

3) 神に選び分けられた者、を意味する呼び名。

4) すべての信者が神の家族であることを表わす呼び名。

私は、いっしょに学ばれたみなさんが、新生の体験を持っておられ、また神の教会の一部であることを信じます。人生の中で、新生という体験は最も大切なことです。教会の会員でクリスチャンと呼ばれてはいても、新生していなければ、神の教会の一部分となることはできません。



正 解

- 10 1) 弟子。2) クリスチャン。3) 聖徒。4) 兄弟。
- 1 1) 悔い改め。 2) 悔い改め。 3) 悔い改め。
- 9 1) 弟子。2) クリスチャン。3) 聖徒。4) 兄弟。
- 2 あなたの文章に、次の文章が含まれていますか。
過去の罪を悲しみ、自分が変わることを望む。
- 8 もし、あなたの答えが「いいえ」であれば神に祈り、新しい性質が与えられるように願って下さい。
- 3 1) 向きを変える。2) 偶像、罪、その他。3) 神。
- 7 人は木のように、性質に従って実を結びます。信者は新しい性質を神から与えられます。
- 4 「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。」
- 6 神の家族に生まれる。これは霊的出生です。
- 5 あなたの答えに、信頼、当てにするという意味合いが含まれていますか。

- この聖書通信講座に使用しました聖書の引用は、すべて〔日本聖書刊行会〕新改訳聖書からです。

教 会

第1回分

1986年11月20日 第1版印刷発行

©1978 ICI

著 者 D ・ D ・ ス ミ ー ト ン

翻 訳 者 中 沢 イ サ ク

発 行 所 国 際 聖 書 通 信 学 院

〒170 東京都豊島区駒込3-15-20

印 刷 所 新 生 運 動

〒352 埼玉県新座市石神1-9-34

落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。 版權所有D/1986/2145/23

I

6

教会



—第2回—



國際聖書通信學院

THE CHURCH

BY

DONALD DEAN SMEETON

INTERNATIONAL CORRESPONDENCE INSTITUTE

CHAUSSÉE DE WATERLOO, 45

1640 RHODE—SAINT—GENÈSE

(BRUSSELS) BELGIUM

ALL RIGHTS RESERVED

D/1986/2145/23

目 次

第2回分

- 第5課 教会が人間の体に似ているのは
 どういうところか…………… 64
- 第6課 教会は教会自体のために
 何をするのか…………… 76
- 第7課 教会は世の中のために
 何をするのか…………… 86
- 第8課 教会は神のために何をするのか……………98

第 5 課

教会が人間の体に似ているのは どういうところか

真のクリスチャンだけが、神の教会の会員ですが、前課では、信者がいろいろな名前と呼ばれていることを学びました。弟子、聖徒、兄弟、そしてクリスチャンと呼ばれ、それぞれ特徴がありました。

同様に、教会もいろいろな名前と呼ばれていて、それぞれの名前は、教会のある特徴を表わしています。この課では、そのうちの一つの名前について学びましょう。聖書では、しばしば教会を人の体にたとえています。この課では、それが何を意味するかを学びます。

あなたは教会において、大勢のクリスチャンと接していますが、その人々は、あなたにとって非常に大事な人たちです。これらの人々を近くに置いて下さった神に感謝すべきなのです。そしてその人々のために、あなたは何ができるのか神に祈って下さい。その人々もあなたに助けを与えてくれることでしょう。この学びは、あなたが実行に移さない限り決して意味を持ちませんので、必ず実行するよう努力して下さい。



この課であなたが学ぶことは……

キリストと教会

いのちの源なるキリスト

主なるキリスト

供給者なるキリスト

教会内の諸関係

教会の統一性

教会の多様性

教会内での助け合い

この課を学び終えた結果は……

■ 教会がどのような点で、人間の体に似ているのか。

- キリストと教会の関係について。
- 教会内の諸関係について。
- 教会における他の人々に対しての責任について。

キリストと教会

学びの目的1 教会がどのように霊的な命を得るのかを学ぶ。

聖書は教会を多くのものにたとえています。建物であったり（エペソ2：21）、花嫁であったり（エペソ5：22—23）、羊の群であったり（ヨハネ10：10）、ぶどうの木であったり（ヨハネ15：4）します。たとえば、まだほかに数多くあり、ある人の調べによると200回以上、新約聖書に書かれてあるそうです。

今、これらのたとえを全部学ぶことはできませんが、それらの中から一つだけ私は選びました。それは教会を人間の体にたとえている聖書の個所です。

いのちの源なるキリスト



生きている人体は、成長し活動しています。そしてすべての人体には頭がついていますが、この頭と人体との関係は非常に密接なものなのです。コロサイの教会に、パウロは次のように書いています。「また、御子はそのからだである教会のかしらです」(コロサイ1:18)。そして教会はキリストのいのちを得ているのです。建物、組織、集会はいのちをもたらしません、イエスにはできるのです。

各々のクリスチャンと教会全体は、「キリストにあって、満ち満ちているのです」(コロサイ2:10)。体が頭と一体であるように、教会もキリストと一体なのです。



自習のために

1 次の()の二つの中から正解と思う言葉を記入しなさい。

- 1) 教会が活動しているのは、そのいのちを_____から得ているため。(組織、キリスト)
- 2) だれが教会の頭なのか。_____ (花嫁、キリスト)

2 コロサイ2:12—13を読んで次の文を完成しなさい。

彼の_____と彼の_____において、信者はキリストと同一化されている。

主なるキリスト

学びの目的2 だれが教会のかしらであることを学ぶ。

キリストは、私たちのいのちの源であるだけでなく、教会の主、

かしらであります。妻が夫に従うように、教会もキリストに従います（エペソ5：24）。手が頭に向かって命令はしませんが、頭が手に命令を下すように、教会も頭であるキリストに従わなければなりません。「また、神は、いっさいのものをキリストの足の下に従わせ、いっさいのものの上に立つかしらであるキリストを、教会にお与えになりました。教会はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たす方の満ちておられるところです」（エペソ1：22—23）。



すべての人々は「主なるもの」を持っています。ある人々は上に立つ人に従いますが、多くの人々は罪に従っています。初代のクリスチャンの告白は、「イエス・キリストは主であられる」でした。



自習のために

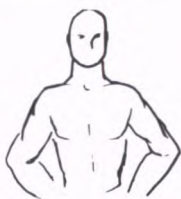
3 次の()の中から正解と思われる答えを記入して下さい。

- 1) 教会の主は _____ である。(役員、キリスト)
- 2) 教会のかしらは _____ である。(人間、キリスト)

供給者なるキリスト

学びの目的3 キリストがなぜ、教会の供給者であるかを学ぶ。

イエス・キリストは愛なる方で、私たち自身を彼にささげるなら、キリストは、私たちの生涯をかえりみて下さいます。パウロは「だれも自分の身を憎んだ者はいません。かえって、これを養い育てます。それはキリストが教会をそうされたのと同じです。私たちはキリストのからだの部分だからです」(エペソ5:29—30)と説明しています。教会が現在まで生存しているのは、キリストに連なっており、キリストによって成長しているからです。教会はキリストによって養われているのです。「このかしらがもとになり、からだ全体は、関節と筋によって養われ、給び合わされて、神によって成長させられるのです」(コロサイ2:19)。



自習のために

4 あなたの地域教会を、キリストがどのように養われたか、いくつかの例をあげて下さい。

5 キリストと体なる教会の関係について記して下さい。

1) _____

- 2) _____
- 3) _____

教会内の諸関係

学びの目的 4 教会の統一性について学ぶ。

教会の統一性

新約聖書の大部分は、信者個人のためよりも、教会のために書かれています。クリスチャンは孤立して存在することができません。初代の教会では、新しい回心者たちは、すぐに教会の交わりに加わったとルカは記しています。「信じた者の群れは、心と思いを一つにして」(使徒4:32)。

人種、国籍、社会的地位に関係なく信者全員が、一つの教会に集っています。「からだは一つ、御霊は一つです」(エペソ4:4)。この統一性は、すべての信者が同じ組織の教会に属さなければならないことを意味してはいません。またすべての教会が同じ様式で礼拝することも意味しません。しかし、この統一性は、愛と一致の霊が信者の間になければならないことを意味しています。

教会の分裂は、決してよくありません。それは教会をひどく苦しめるものです。コリントの教会はこの問題が起こりました(1コリント1:11—13参照)。パウロは一致を訴えました。「それは、からだの中に分裂がなく、各部分が互いにいたわり合うためです」(1コリント12:25)。教会内の分裂の原因は、人々が自己中心的にな

り、他人のことを考えなくなることから始まります。



自習のために

6 次の文に()の中から正しいと思う言葉を記入して下さい。

1) 聖書的な統一性、一致は同じ _____ を意味する。

(組織、御霊)

2) 教会の分裂は、一般的に _____ によって起きる。

(自己中心、愛)

教会の多様性

学びの目的5 教会におけるあなたの霊の賜物を確認する。

教会の統一性とは、クリスチャンのすべてが全く同じようであることを意味しません。各自はそれぞれ違うものです。多様性は、教会に力と調和を与えます。「ですから、ちょうど、からだの一つでも、それに多くの部分があり、からだの部分はたとい多くあっても、その全部が一つのからだであるように、キリストもそれと同様です」(Iコリント12:12)。

体のある器官は、他の器官に向かって、「私はあなたを必要とほしくない」などとは決して言えません。体の全器官が、お互いの器官を必要とするように、クリスチャンもお互いが必要なのです(Iコリント12:12—27参照)。信者は、働き(17節)、強さ(22節)、尊さ(23節)においてそれぞれ違いますが、体は一つしかありません。

この真理に関して、パウロは、ローマの教会に次のように書き送っています。「大ぜいいる私たちも、キリストにあって一つのからだであり、ひとりひとり互いに器官なのです。私たちは、与えられた恵みに従って、異なった賜物をもっているのです」(ローマ12：5—6)。



自習のために

- 7** ローマ12：6—8には、神が教会に与えられた賜物のいくつかが記されています。あなたが神の恵みによって与えられ用いている賜物があれば、○で囲みなさい。
- 1) 預言。2) 奉仕。3) 教育。4) 勧め。
5) 分け与える。6) 指導。7) 慈善。
- 8** それらの賜物の用い方はどうでしたか。また今、与えられている賜物の用い方について、よく祈って下さい。

教会内での助け合い

学びの目的6 信者たちがどのようにして互いに助け合うかを学ぶ。

あなたは、教会内での役割を持っていると思いますが、それをキリストへの奉仕として真剣に取り組んで下さい。またその責任の一つとして、他の人々を助けるということもあります。すでに学んだように、体においては、手は耳を必要とし、耳は足を必要とします。「キリストによって、からだ全体は、一つ一つの部分はその力量にふさわしく働く力により、また、備えられたあらゆる結び目によって、しっかりと組み合わされ、結び合わされ、成長して、愛のうちに建てられるのです」(エペソ4:16)。どの器官も孤立して存在するのではなく、それぞれお互いを必要としているのです。

この相互関係において大事なことは、誠実性と真実性です。「ですから、あなたがたは偽りを捨て、おのおの隣人に対して真実を語りなさい。私たちはからだの一部分として互いにそれぞれのものだからです」(エペソ4:25)。私たちは、互いに信者として助け合うのです。「互いに重荷を負い合い、そのようにしてキリストの律法を全うしなさい」(ガラテヤ6:2)。人生の苦難に関しても、パウロは同じように述べています。「もし一つの部分が苦しめば、すべての部分がともに苦しみ、もし一つの部分が尊ばれば、すべての部分がともに喜ぶのです」(Iコリント12:26)。他の人々と助け合



う姿は、教会のしるしともいえます。ヨハネは次のように書いています。「もしあなたがたの互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるのです」(ヨハネ13:35)。



自習のために

- 9 この課をもう一度読みなおし、あなたが教会の兄弟姉妹を助けることのできる事柄を書き出して下さい。
-
- 10 この課をもう一度復習し、教会内でのあなたの役割は何であるか神に祈って下さい。そしてキリストの体の器官として、あなたがこれから始めなければならないことを書いて下さい。
-

答えを確認して下さい。

正 解

10 あなたの答え。

1 1) キリスト。 2) キリスト。

9 1) 真実を語る 2) お互いに重荷を負い合う。
3) 共に苦しみにあずかる。 4) 共に喜びにあずかる。

2 死。 復活。

8 あなたの答え。

3 1) キリスト。 2) キリスト。

7 あなたが○印をした賜物はいくつありましたか。それらによって、あなたが教会の一器官として奉仕できるよう祈って下さい。

4 あなたの答えでよいのですが、例として、すぐれた指導、証しする機会、一致、などあげられます。

6 1) 御霊。 2) 自己中心。

5 1) 命の源としてのキリスト。

2) 主としてのキリスト。

3) 供給者としてのキリスト。

第 6 課

教会は教会自体のために 何をするのか

前課では、どのように教会が人の体と似ているかについて学びました。人々がそれぞれ違っていても、一致を持つことができることを学び、お互いのために何ができるのかを学びました。

この課でも同じ主題を扱います。私たちはお互いに、他の信者への果たすべき義務があります。もしそれを分かち合わず、助け合わないなら、お互いに傷つけ、必要としている助けを奪ってしまっているのです。この課では、私たちの教会内での役割について学びます。

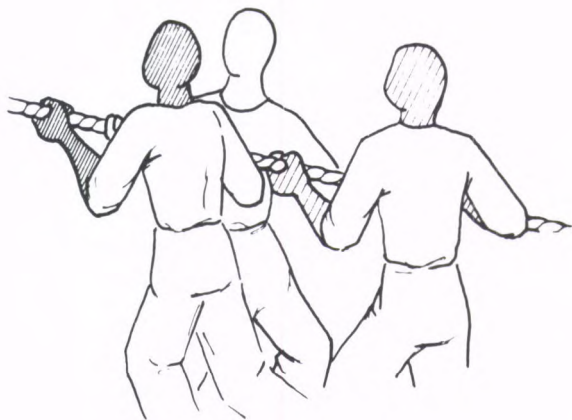
この課は個人的であり、あなたが実行するためのものです。あなたの義務を認め、実行に移して下さい。教会について多くのことを学ぶことができますが、私たちがそれを実行しなければ何の意味もありません。神が実行する力を与えて下さるように祈って下さい。

この課であなたが学ぶことは……

分かち合う教会

強くなる教会

潔められる教会



この課を学び終えた結果は……

- 信者たちが互いに助け合う三つの方法を説明する。
- 他の信者に対する責任を知るようになる。

分かち合う教会

学びの目的1 聖書的な交わりを実行する方法を学ぶ。

「そして、彼らは使徒たちの教えを堅く守り、交わりをし、パンを

裂き、祈りをしていた」(使徒2:42)。

交わりという言葉は、「友情」「助け合い」「分かち合い」を意味し、その分かち合いは非常に深く個人的なものです。



パウロは捕われている時、この交わりを持つことができませんでした。彼はきっと交わりを持ってなくて寂しかったのではないかと思います。ピリピ人への手紙には、交わりについて何度も記されています。彼は福音における交わりを語り(ピリピ1:5)、御霊の交わりについて語り(2:1)、苦しみの交わり(3:10)、困難の中での交わり(4:14)、そしてささげ物についての交わり(4:15)を語っています。



自習のために

- 1 交わりに関しての箇所を読み、初代教会の信者たちが持った交わりの方法を書き出して下さい。

- 2 次にあなたが、他の人々と交わる方法を書き出し、助けを必要としている人々の名前を書いて下さい。

強くなる教会

学びの目的2 聖書的教会の建設方法について学ぶ。

交わりという言葉と、建設という言葉は互いに関連しています。交わりとは「共にいる」ことを強調し、建設は「強める、建てる」ことを強調しています。信者たちは、ただ共にいるだけでなく、互いに助け合い、強め合うのです。

各信者は、自分自身の信仰を築き上げていく事も大切ですが（ユダの手紙20）、お互いの信仰を盛り上げ、成長させていく責任もあります。クリスチャンが集まるとき、それぞれが何らかの助けを互いに出し合うことができます。その必要は各自違いますが、「そのすべてのことを、徳を高めるためにしなさい」（Ⅰコリント14：26）とあります。

この建設の過程は、決して終了することはありません。ペテロは次のように忠告しています。「愛する人たち。そういうわけですから、このことをあらかじめ知っておいて、よく気をつけ……私たちの主であり救い主であるイエス・キリストの恵みと知識において成長しなさい」（Ⅱペテロ3：17—18）。

また、教会建設に対してパウロは書いています。「どのように建てるかについてはそれぞれが注意しなければなりません」（Ⅰコリント3：10）。時にはクリスチャンは、誇りや野心から教会を建てようとしませんが、パウロはそれらを「木」「草」「わら」と呼んでい

ます（12節）。各自の建設と働きが試されるのです。



信者はなぜ教会建設に参加できるのでしょうか。聖書は、いくつかの理由を示していますが、そのうちの一つに、教会内の平和を盛り上げることがあります。「そういうわけですから、私たちは、平和に役立つことと、お互いの霊的成長に役立つことを追い求めましょう」（ローマ14：19）。またお互いの励ましも目的の一つです。「ですから、あなたがたは、今しているとおり、互いに励まし合い」（Iテサロニケ5：11）。そして愛は教会建設に必要なものです。「キリストによって、からだ全体は、一つ一つの部分はその力量にふさわしく働く力により、また、備えられたあらゆる結び目によって、しっかりと組み合わされ、結び合わされ、成長して、愛のうちに建てられるのです」（エペソ4：16）。また、最も大切なことは、キリストに似る、その人格を反映するということです。「キリストの中に根ざし、また建てられ、また、教えられたとおりの信仰を堅くし、あふれるばかり感謝しなさい」（コロサイ2：7）。



自習のために

- 3** エペソ4：11—16を読んで、次の問題に答えなさい。
- 1) 13節でパウロは、どのような比較をしていますか。

2) 成長する、建てる、建て上げるという言葉は合計して何回出てきますか。

3) なぜキリストは教会に器を立てたのですか。

4 ローマ12：6—8で賜物について学びましたが、Iコリント12：28からも賜物について学んでみましょう。よく読んであなたの教会において用いられている賜物に○印をつけて下さい。

使徒。 預言者。 教師。 奇蹟を行なう者。

いやしの賜物を持つ者。 助ける者。 治める者。

異言を語る者。

5 教会建設のために、あなたは何ができるか祈って、参加して下さい。

潔められる教会

潔められるという言葉は、聖徒という言葉と関連しています。それは「神のために選び出された者」を意味しています。潔められた者は、神のために選び出されたのです。彼らは呼び出された者なのです。神が聖であるから、彼らも聖であるべきで（Iペテロ1：16）、教会は「聖なる宮」と呼ばれています（エペソ2：21）。そして聖霊が教会に注がれたのです（Iヨハネ2：20）。

ある意味では、教会はキリストにあって完全ですが、他の意味では、完全を目指して進行中なのです。潔めは、一回の体験や、儀式を指しているわけではありませんが、キリストが教会を備えるために

なさることなのです。エペソ人への手紙には、次のように書かれています。

「夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、あなたがたも、自分の妻を愛なさい。キリストがそうされたのは、みことばにより、水の洗いをもって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、ご自身で、しみや、しわや、そのようなものの何一つない、聖く傷のないものとなった栄光の教会を、ご自分の前に立たせるためです」

エペソ 5 : 25—27

私たちは、自分を潔くしていただくために、できるだけ努力をするようにと、聖書は記しています。「愛する者たち。私たちはこのような約束を与えられているのですから、いっさいの霊肉の汚れから自分をきよめ、神を恐れかしこんで聖きを全うしようではありませんか」(Ⅱコリント 7 : 1)。



もう一方においては、神が私たちを潔めなさるのです。もし私たちが自分自身を裁くならば、神によって罪に定められることはないのです。それは、私たちが生き方を吟味し、罪ある行為から離れるならば、神は私たちを罪に定めないということです。Ⅰコリント 11 : 31—32には次のように書かれています。

「しかし、もし私たちが自分をさばくなら、さばかれることはありません。しかし、私たちがさばかれるのは、主によって懲らしめられるのであって、それは、私たちが、この世とともに罪に定められることのないためです」。



自習のために

6 ()の中から正解と思う言葉を書き入れなさい。

1) 潔めとは _____ (儀式、現在進行中の過程)

2) だれが信者を潔めるのか。 _____

(主のみ、主と信者)

私には一人の娘がいますが、彼女が悪いことをする時には懲らしめなければなりません。なぜなら彼女に、正しいことは何であるかを知ってもらうためです。同じことが神に関してもいえます。私たちが悪しきことに傾いたとき、神は、私たちを神の子供として懲らしめます。懲らしめられることはうれしいことではありませんが、自分にとって最善なことであることを知らなければなりません。

ヘブル12：5－11では、神からの懲らしめは私たちに励ましを与えてくれると教えています。そこには、私たちがそのことによって父なる神を敬い（9節）、それは私たちの益のため、そのきよさにあずからせるため（10節）とあります。ですから私たちは神からの懲らしめに従わなければならないのです。

もし、ある兄弟姉妹が過ちを犯したなら、私たちは彼を助けなけ

ればなりません。その人に直接話すようにし、絶対、第三者に告げ口してはいけません。神が、私たちが扱って下さるように、私たちも兄弟姉妹に接するべきです。

教会内に罪があるのを見てキリストを受け入れようとししない人々もいます。このようなことは決してあってはならないことです。コリントの教会の問題に関して、パウロは、キリストの教えを応用しました（Iコリント5：6—8、13参照）。信者全員が、教会を罪から守るために努力すべきです。



自習のために

7 ()の中の正解と思われる言葉を選んで書き入れなさい。

- 1) 交わりとは _____ を意味する。
(分かち合い、潔くなること)
- 2) 建設するとは _____ を意味する。
(建て上げること、潔くなること)
- 3) 教会は _____ のため、花嫁として備えられている。
(その美しさ、キリスト)
- 4) もしある信者が罪を犯したら、あなたは _____ 責任がある。

(直接個人的に話す、第三者に告げ口をする)

8 この課を復習し、特に2と4の質問の答えに注意して下さい。今があなたの教会に対して賜物を用いるべき時です。キリストが教会を愛されたように、あなたも同じ愛をもって、キリ

ストのからだである教会を愛して下さい。そうすればお互いに分かち合い、建設し、潔めにあずかることが容易となり、すばらしい教会となるでしょう。

答えを確認して下さい。

正 解

- 8 次の課の学びに進めます。
- 1 祈り。 食事。 旅行。 助け合い。 苦難の時の助け合い。
- 7 1) 分かち合い。 2) 建て上げること。
3) キリスト。 4) 直接個人的に話す。
- 2 あなたの答え。
- 6 1) 現在進行中の過程。 2) 主と信者。
- 3 1) 幼児と大人の比較。
2) 四回。
3) 成長を助ける。
- 5 あなたの祈り。
- 4 あなたの答え。



第 7 課

教会は世の中のために 何をするのか

前の課では、信者はお互いに責任を持っていることを学びました。信者全員は神の家族を構成し、キリストにある兄弟姉妹の関係を持っています。しかし、教会は未信者に対しても責任があり、クリスチャンは、周囲の世の人々の必要を忘れるほど、兄弟姉妹との関わりにのめり込んではいけません。この課では、未信者に対するクリスチャンの責任について学びます。他の課と同じように、学んだことを実行して下さい。私たちは、ただ知っているだけで行なわなければ神に喜ばれません。ヤコブが言っているように「なすべき正しいことを知っていながら行なわないなら、それはその人の罪です」(ヤコブ4：17)。学んだことは実行に移しましょう。

この課であなたが学ぶことは……

信者は悪に立ち向かう

信者は福音を伝える

信者は働き人を送り出す



信者は働き人を支える

この課を学び終えた結果は

- クリスチャンが未信者に福音を伝える三つの方法。
- 伝道という言葉の定義。
- 失われた人々を捜す責任。

信者は悪に立ち向かう

学びの目的1 信者がどのように悪に立ち向かうかを学ぶ。

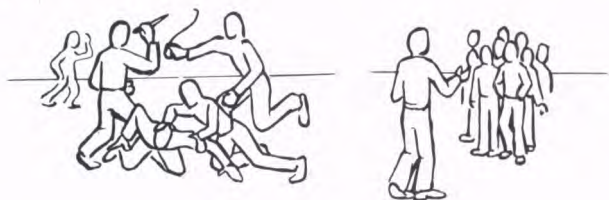
あなたは、今までにだれかからお金を借りたことがありますか。人生においては、お金で返せないような恩義を人から受けることもあります。それは決して忘れることのできないもので、またお金で償えない責任のようなものです。クリスチャンは、そのような責任を持っているといえます。この責任、義務に関してパウロは次のように記しています。「兄弟たち。ぜひ知っておいていただきたい。私はあなたがたの中でも、ほかの国の人々の中で得たと同じように、いくらかの実を得ようと思って、何度もあなたがたのところに行こうとしたのですが、今なお妨げられているのです。私は、ギリシヤ人にも未開人にも、知識のある人にも知識のない人にも、返さなければならない負債を負っています」(ローマ1：13—14)。

神を敬う人々は、敬虔な行動をもって知られるべきですし、善に励まなければなりません。イエスは「あなたがたは、地の塩です」(マタイ5：13)と言われましたが、もし塩がその役目を果たさなければ何の価値もありません。また、イエスは「あなたがたは、世界の光です」(マタイ5：14)と言われました。光とはまわりを照すべきものであって隠すべきものではありません。光は部屋にいる人々を照らします。「このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行ないを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい」(マタイ5：16)。

人々がクリスチャンになる時、新しい人生を歩み始めます。過去に犯した罪から離れ、神を喜ばせようと努力します。ちょうど塩が食物の味を変えるように、そして、光が暗黒を照らし出すように、クリスチャンの敬虔な生活は、その周囲の人々に影響を与えます。周囲の人々が善悪をわきまえられるように、クリスチャンは人々に

影響を与えることによって、悪に立ち向かう力ともなるのです。

私は、ニッキーという青年の伝記を読みました。彼は多くの人を憎悪し、けんかをし、やがて殺人まで犯してしまいました。彼の悪友たちは盗みと破壊のギャング団を結成し、彼自身も麻薬を使うようになってしまいました。このように彼の少年時代は、神から遠く離れた生活でしたが、ある日、一人のクリスチャンによって神の愛を知りました。イエス・キリストを信じれば新しく生まれ変わることができるというのです。彼はただちにキリストを受け入れ、ギャングのグループから離れ、けんかや粗暴な生活から足を洗いました。そして彼の生活の変化は、それだけにとどまらず、彼と同じような問題や環境の中にいる若い青年たちをも助け始めたのです。ニッキーは、彼らにイエス・キリストを語り、彼らを麻薬や人々を憎む生活から助け出したのです。



神の恵みにより、ニッキーの人生において悪は打ち負かされました。そればかりでなく、彼は自らの救いの影響力を用いて悪に立ち向かったのです。彼の人生は、罪にまみれた社会という暗黒に輝く光のようでした。

クリスチャンはまた、祈りによって悪に立ち向かうことができます。アブラハムの甥であるロトは、アブラハムほどには神を愛して

いませんでした。そのためにアブラハムはロトのことを心配し、神に従うように勧めましたが、ロトは罪惡の町として知られている所に住みついてしまいました。アブラハムは、ロトのために祈り続けました。その熱心な祈りのゆえに、神はその町を滅ぼすとき、ロトを救出されました。あなたも創世記18：22—33の、アブラハムの祈りの個所を読んで下さい。



自習のために

- 1) 的確な言葉を記入して下さい。
- 1) 信者は _____ をすることにより惡に立ち向かえる。
 - 2) イエスは信者を _____ と _____ にたとえられた。
 - 3) ニッキーの例は、クリスチャンが地域教会において _____ に対して立ち向かえることを証明している。
 - 4) アブラハムの人生は、神を愛さない者のために、神を愛する者が _____ ことを教えている。

信者は福音を伝える

学びの目的 2 伝道という言葉を定義する。

クリスチャンの責任について、パウロはピリピの教会に次のように書き送っています。「それは、あなたがたが、非難されるところのない純真な者となり、また、曲がった邪惡な世代の中であって傷のない神の子どもとなり、いのちのことばをしっかりと握って、彼らの間で世の光として輝くためです」(ピリピ 2：15—16)。

パウロは、敬虔な生活だけでは十分でないと言っています。私たちは「いのちの言葉」を伝える、すなわち行ないだけではなく言葉をもって福音を語らなければなりません。「あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい」(マタイ28:19)とイエスは言われましたが、これは宣教の大命令ともいわれている言葉です。マルコも同じような記録をしています。「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい」(マルコ16:15)。ここで使われている「宣べ伝える」という言葉は、あるグループに向かって行なう形式的な説教ではなく、「伝える」「告げる」ことを意味します。信者全員が説教できるわけではありませんが、クリスチャン全員が福音を伝える、告げることはできます。しばしば、伝道する、という言葉が使われますが、それは「福音を告げる」ことをいうのです。信者全員が、キリストの言葉に従い、福音を告げ、弟子を育成していきましょう。

すでに学んだように、神は教会が成長することを願っておられます。「神によって成長させられるのです」(コロサイ2:19)。初代教会は成長する教会であり、一日に三千人もの人々が加えられたことがありました(使徒2:41)。成長することは教会にとって正常なことであり、「主も毎日救われる人々を仲間に加えてくださった」(使徒2:47)とあるように、成長する教会は健全な教会なのです。



自習のために

2 ()の中から正解を選んで記入しなさい。

1) マルコ16:15の「宣べ伝える」とは_____ことを意

味する。 (説教する、福音を語る)

2) 伝道は _____ ことを意味する。(福音を告げる、説教する)

3) 人々が救われることによって成長しない教会は、
_____ な教会である。 (健全、不健全)

3 宣教の大命令を成しとげるために、あなたは何をしていますか。あなたの群に新しい人々が加えられていますか。キリストについて証しをした人々がいたら、リストを作ってその人のために祈り、できるだけ話しかけて下さい。

4 学んだことを復習し、教会の二つの責任を書いて下さい。

1) _____ 2) _____

信者は働き人を送り出す

学びの目的3 なぜ教会は働き人を送り出さなければならないかを学ぶ。

教会は福音を宣べ伝えなければなりません。マタイ28：19と、マルコ16：15に、「行く」という言葉があります。あなたが遠い地に行くことはないかもしれませんが、クリスチャンは時には、見知らぬ地に出て行かなければならないことがあります。信者の一人もいない地に、福音を宣べ伝えなければなりません。イエスも言われました。「罪の赦しを得させる悔い改めが、エルサレムから始まってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる」(ルカ24：47)。「国の人々」とは部族や、群を意味します。教会にとっては壮大な事業ですが、神は私たちに聖霊を約束されました。「しかし、聖霊があなたがた

の上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。……地の果てにまで、わたしの証人となります」(使徒1：8)。初代教会は、働き人を送り出し、宣教の大命令に従いました。



「さて、アンテオケには、そこにある教会に……預言者や教師がいた。彼らが主を礼拝し、断食をしていると、聖霊が、『バルナバとサウロをわたしのために聖別して、わたしが召した任務につかせなさい。』と言われた。そこで彼らは、断食と祈りをして、ふたりの上に手を置いてから、送り出した」

使徒13：1—3

この個所は、私たちが倣うべき事柄を示しています。その原則を挙げてみましょう。

1. 送り出された人々は、その教会の奉仕に忠実であった。
2. 送り出すべき決断は、多くの祈りによってなされた。
3. 送り出された人は、神の召しを感じ、教会によって遣わされた。

働き人は、神と教会によって送り出されたのです。そして彼らが

戻ると、その働きを教会に報告しました。「そこに着くと、教会の人々を集め、神が彼らとともにいて行なわれたすべてのことと、異邦人に信仰の門を開いてくださったこととを報告した」(使徒14:27)。



自習のために

5 正解と思われるものに○印をつけなさい。

- 1) 「出て行き、福音を宣べ伝えなさい」とイエスが言った時、彼らに何を意味したのでしょうか。
 - 1) 近い距離の人々のために出て行く。
 - 2) 遠い外国にまで行き、福音を伝える。
 - 3) 近くであれ遠くであれ、まだ福音を知らない人々の所に出て行く。
- 2) 働き人を送り出すことは、だれによってなされるのか。
 - 1) 出て行く人
 - 2) 教会と指導者
 - 3) 主と教会。

信者は働き人を支える

学びの目的4 教会によって送り出された働き人がどのような支持を受けなければならないか、その種類を学ぶ。

教会によって送り出された働き人は、教会によって支えられなければなりません。働き人が送り出されたのち、忘れられてしまうということは悲しいことです。教会は常に、その働き人のために祈っているべきです。パウロは、ローマの教会に「私とともに力を尽くして神に祈ってください」(ローマ15:30)と書き、コロサイの教

会には「私たちのためにも、神がみことばのために門を開いてくださって、私たちがキリストの奥義を語れるように、祈ってください」（コロサイ4：3）と書き送っています。教会から送り出された者は、群にとって大事な一部分ですので、私たちは彼らのために心を合わせて祈るべきです。

パウロはまた、彼に送られた献金について教会に感謝しています（ローマ15：24。ピリピ2：25。4：15参照）。送り出された働き人は、彼らを召して下さった神の働きを十分果たすために、お金を必要としています。



自習のために

- 6** 正解と思われる文に○印をなさい。
- 1) 教会はささげ物をもって働き人を支えた。
 - 2) 教会は働き人のために続けて祈った。
 - 3) 教会は働き人の活動を非難した。
- 7** 1) あなたの教会によって送り出されている働き人の名前を書きなさい。 _____

2) あなたは、その働き人を祈りと献金で支えていますか。

8 まだキリストの福音に接していない国や、部族、地域を知っていますか。それらの地名を書き出して下さい。

イエスは言われました。「実りは多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主に、収穫のために働き手を送ってくださるよう祈りなさい」(ルカ10:2)。

9 この課を復習し、未信者に対するクリスチャンの責任を三つ書いて下さい。

- 1) _____
- 2) _____
- 3) _____



正 解

- 9 次のうちどれでもよい。
● 良い行ないをし、悪に向かう。 ● 未信者のために祈る。
● 福音を告げる。 ● 働き人を送り出す。 ● 働き人を支える。
- 1 1) 良い行ない。 2) 塩、光。
3) 罪。 4) 祈る。
- 8 あなたの答え。
- 2 1) 福音を語る。 2) 福音を告げる。 3) 不健全。
- 7 あなたの答え。
- 3 あなたの答え。
- 6 1) 教会はささげ物をもって働き人を支えられた。
2) 教会は働き人のために続けて祈った。
- 4 1) 善を行ない、悪に立ち向かう。
2) 福音を告げる。
- 5 1) 3) 近くであれ遠くであれ、まだ福音を知らない人々の
所に出て行く。
2) 3) 主と教会。

第 8 課

教会は神のために 何をするのか

第6課では、キリストの体である教会で、クリスチャンがお互いに何をするのかを学びました。第7課では、未信者に対する責任について学びました。教会は、教会自体と人々のために奉仕しなければなりません。また神のために特別な奉仕をしなければなりません。

第1課で、教会に対する神の目的は、神に栄光を帰することであると学びました。では、教会がどのようにして神に栄光を帰することができるのでしょうか。主に従うために教会は何をしなければならないのでしょうか。この課では、これらについて学びます。

祈ることを知っているクリスチャンは、ただ知っているだけにとどめず、それを実行に移すべきです。なぜなら祈りは、神に対する奉仕であり、また特権でもあるからです。私たちは、神を礼拝すべきであると知っており願っていますが、忙しくてできない時があります。あなたがクリスチャンであるなら、神に従う喜びを経験しており、また従えなかった時の良心のとがめも知っておられるでしょう。神に従うということが、神に栄光を帰することなのです。私た



ちは心から神に従い、神に栄光を帰する者となりましょう。

この課であなたが学ぶことは……

礼拝の諸行為

洗礼式

聖餐式

この課を学び終えた結果は……

- 礼拝の定義を理解できる。
- 洗礼式の重要性を理解できる。
- 聖餐式の意義を理解できる。

礼拝の諸行為

学びの目的1 神を礼拝する種々の方法を学ぶ。

第1課で私たちは、教会の目的の一つは神を賛美することであると学びました。クリスチャンは敬虔な生活を通して、神に栄光を帰することができます。パウロもこのことについて、ピリピの教会に次のように書いています。「イエス・キリストによって与えられる義の実に満たされている者となり、神の御栄えと誉れが現わされますように」(ピリピ1:11)。

そして、クリスチャンは礼拝を通して、神に栄光を帰します。礼拝するということは、敬意を表わし、名誉を与え、服従することを意味しています。神のすばらしい慈愛に対して、賛美をもって礼拝します。エペソの教会にパウロは、「それは、神がその愛する方によって私たちに与えてくださった恵みの栄光が、ほめたたえられるためです」(エペソ1:6)と書いています(エペソ1:12、14参照)。

聖書は、信者全員が祭司として、神に祈りと賛美をささげるべきであると記しています。「聖なる祭司として、イエス・キリストを通して、神に喜ばれる霊のいけにえをささげなさい」(Iペテロ2:5)。教会がささげるいけにえとは賛美です。「ですから、私たち

はキリストを通して、賛美のいけにえ、すなわち御名をたたえるくちびるの果実を、神に絶えずささげようではありませんか」(ヘブル13:15)。



私たちはまた、歌をもって神を礼拝します。歌によって神を礼拝することについては、聖書に多く記されています。旧約聖書の詩篇全部が歌です。ある詩篇には、こう記されています。「主に歌え。御名をほめたたえよ」(詩篇96:2)。パウロがコロサイの教会に手紙を書いた時、この詩篇が頭の中にあったのかも知れません。「感謝にあふれて心から神に向かって歌いなさい」(コロサイ3:16)。

聖書はまた、神を礼拝するもう一つの方法について教えています。それはささげ物によるものです。ささげるということは、神を礼拝する行為の一つです。パウロが、ピリピの教会に書いた手紙の中で、教会のささげ物に対して感謝しています。「エパフロデトからあなたがたの贈り物を受けたので、満ち足りています。それは香ばしいかおりであって、神が喜んで受けてくださる供え物です」(ピリピ4:18)。クリスチャンがささげることによって必要が満たされ、そして必要が満たされるので、人々は神を賛美するのです。「なぜなら、この奉仕のわざ(ささげること)は、聖徒たちの必要を十分に満たすばかりでなく、神への多くの感謝を通して、満ちあふれるようになるからです」(Ⅱコリント9:12)。



自習のために

正解と思われる言葉に、○印をつけなさい。

1 礼拝するとは何を意味しますか。

- | | |
|------------|--------------|
| 1) 献金をする。 | 2) 教会に行く。 |
| 3) 敬意を表わす。 | 4) 人々に親切にする。 |

2 教会の重要な目的は何ですか。

- 1) 神に栄光を帰す。
- 2) 人々がよい生活をするように助ける。
- 3) 祈るために人々を集める。
- 4) 神に賛美の歌をささげる。

3 次のどれが、神に対する礼拝の方法ではないか。

- 1) 神を賛美する。
- 2) 神の慈愛を賛美する。
- 3) 神の働きのためにささげる。
- 4) 不敬虔な生活をする。

4 次の文を完結させて下さい。

クリスチャンは _____ のいけにえをささげるべきである。

5 神を賛美する方法についてのリストを作りなさい。

ここで気をつけなければならないことは、礼拝とは単に賛美を歌う、祈りをする、献金をすることではありません。これらは礼拝の一部の表現であって、真の礼拝は霊をもって行なわれます。私たち

はクリスチャンたちの集会に行き、賛美を歌うことはできますが、真の礼拝をしているとはかぎりません。「神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません」(ヨハネ4:24)。礼拝は、形式・儀式的なものではなく、霊的なものです。「神の御霊によって礼拝をし、キリスト・イエスを誇り、人間的なものを頼みにしない私たちのほうこそ、割礼の者なのです」(ピリピ3:3)。礼拝にともなう活動と、礼拝の霊的な現実性とを混同しないように十分気をつけましょう。



自習のために

6 ()の中から正しいと思う言葉を選んで記入しなさい。

1) まことの礼拝とは ___ である。

(霊的、儀式)

2) クリスチャンは ___ によって礼拝する。

(御霊、形式と儀式)

洗礼式

学びの目的2 クリスチャンにとってなぜ洗礼式が必要なのか。

私たちが神を愛することは、神を喜ばせることなのです。私たちの神への賛美と愛は、儀式よりまさるものです。しかし、イエスは私たちに二つの儀式を守るように命じられました。その二つの儀式とは、洗礼式と聖餐式です。ではまず洗礼式について学びましょう。

ある人が、クリスチャンになったとき、自分の経験したことを周囲の人々に知らせたいと思います。洗礼式とは、それを知らせる行為なのです。一般的には、教会の牧師が場所を決めて、湖や川などで洗礼式を行ないます。洗礼を受けようと決心したクリスチャンは、水の中に浸され、次に水から上げられます。この儀式は、キリストが、信者のためになされたみ業を象徴しています。信者は、洗礼を受けることにより、キリストの死と復活に一体化されるのです。その事に関して、パウロはコロサイの教会に次のように書いています。

「あなたがたは、バプテスマによってキリストとともに葬られ、また、キリストを死者の中からよみがえらせた神の力を信じる信仰によって、キリストとともによみがえらされたのです。」

コロサイ 2 : 12



ですから洗礼式は、私たちの古い、罪の生活が葬られ、キリスト・イエスにある新しい生活に入ることを、第三者に示すためなのです。

洗礼式は、未信者を信者にするために行なうものではありません。

洗礼式は人の魂を救うことはできませんし、特別な魔術のようなものでもありません。

初代教会では、人々はキリストを信じた後に、洗礼を受けました。教会にはじめて聖霊が注がれた時、ペテロは人々に信仰の重要性について話しました。すると、「彼のことばを受け入れた者は、バプテスマを受けた」と聖書に記されています。また、ピリポはサマリヤ地方に福音を宣べ伝えましたが、「ピリポが神の国とイエス・キリストの御名について宣べるのを信じた彼らは、男も女もバプテスマを受けた」（使徒8：12）と聖書に記されています。

イエスは私たちに、キリストを受け入れた人々に洗礼を授けることを命じられました。「それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授けなさい」（マタイ28：19）。



自習のために

7 ローマ6：4を読み、次の文を完結しなさい。

私たちは、キリストの____にあずかるバプテスマによって、キリストとともに_____。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中から_____ように、私たちも、いのちにあって_____をするためです。

8 ()の中から正解を選んで記入して下さい。

1) 教会が洗礼を守る理由は_____

(儀式だから、キリストが命じられたから)

2) だれが洗礼を受けるのか _____

(信者、未信者)

3) 洗礼式は _____ する。

(人々をクリスチャンに、キリストのみ業を意味)

聖餐式

学びの目的3 主の聖餐式の聖書的な意味を学ぶ。

イエスは教会に、洗礼式を守るよう命ぜられました。また聖餐式を守ることを命じられました。最後の晩餐の時、イエスは弟子たちに言われました。「わたしを覚えて、これを行ないなさい」(Iコリント11:24)。



洗礼式のように、聖餐式も礼典の一つであって、決して魔術のようなものではありません。しかし、無意味な形式のものでもなく、私たちが聖餐式を守ることにより、神に栄光を帰しているのです。

パンと杯は、キリストのみ業を示しています。パウロはこのことを通して私たちが、「主の死を告げ知らせるのです」と表現しています(Iコリント11:26)。この儀式を通して、私たちとキリスト

が同一化されることを意味し、そして、キリストの死を私たちに思い出させるのです。

「それから、パンを取り、感謝をささげてから、裂いて、弟子たちに与えて言われた。『これは、あなたがたのために与える、わたしのからだです。わたしを覚えてこれを行ないなさい。』食事の後、杯も同じようにして言われた。

『この杯は、あなたがたのために流されるわたしの血による新しい契約です。』」

ルカ22：19—20

ですから、未信者は聖餐式にあずかるべきではないのです。

この行為によって、私たちはキリストと一体となるだけでなく、信者のお互いが一つとされるのです。聖餐式とは、信者が一人で行なうべきものではなく、キリストの体である教会全体が行ない、一致を示す儀式なのです。パウロは次のように書き送っています。

「私たちが祝福する祝福の杯は、キリストの血にあずかることではありませんか。私たちの裂くパンは、キリストのからだにあずかることではありませんか。パンは一つですから、私たちは、多数であっても、一つのからだです。それは、みなの方がともに一つのパンを食べるからです」

Iコリント10：16—17

聖餐式は、キリストの死にあずかる私たちの信仰を示し、教会の一致を示しています。また、やがて教会を迎えに来られる、キリストの再臨に対する、私たちの信仰をも表わしています。「主が来られるまで、主の死を告げ知らせるのです」(Iコリント11：26)。



自習のために

9 次の文で、聖餐式を意味しないものに○印をつけなさい。

- 1) キリストのみ業を示すもの。
- 2) キリストの再臨に対する信仰。
- 3) 神よりの赦しを得るもの。
- 4) 信者の一致の表明。

10 聖餐式と洗礼式を守る最大の理由。

- 1) クリスマンに祝福をもたらすから。
- 2) 宗教的な儀式だから。
- 3) キリストが命じられたから。
- 4) キリストの死を示すので。

教会は、キリストに対してなすべき奉仕があります。それは、キリストに従い、キリストに栄光を帰すことです。そしてこの奉仕は、キリストの再臨の時まで、絶えることはありません。そして再臨のとき、私たちはキリストと共にいることができるのです。その日、その時が来るまで、教会は信者と未信者に、神の計画が何であるかを示さなければなりません。未信者には福音を宣べ伝え、信者には励ましを与え続けるのです。

初代教会は、このように行なっていました。私は、使徒の働き2章46—47節を読むたびに感動を覚えます。

「そして毎日、心をつにして宮に集まり、家でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、神を賛美し、すべての民に好意を持たれた。主も毎日救われる人々を仲間に加えてくださった。」

初代教会と同じことが、私の教会、あなたの教会についても言えるでしょうか。神は、私たちが教会の奉仕に参加し、私たちの責任



を果たすことを願っておられます。

信者全員が、教会を必要としています。「いっしょに集まることをやめたりしないで、かえって励まし合い、かの日が近づいているのを見て、ますますそうしようではありませんか」(ヘブル10:25)。教会は、キリストにとっても大事なものです。「キリストが教会を

愛し、教会のためにご自身をささげられた」(エペソ5:25)。どうかキリストの教会において、あなたの役目を果たして下さい。

私たちが教会の一部であることは、素晴らしいことです。学びもこれで終わりますが、あなたが教会に対して理解を深められたことを願っています。キリストを伝える役割、教会の意義、神の計画における教会等、いろいろ学びましたが、ここで少し時間を割き、キリストの体である教会のために祈って下さい。そして、神があなたを教会の大事な部分として、更に、奉仕に用いて下さるよう祈って下さい。

レポートを書き終わったら送って下さい。修了証か、シールをお送りします。

正 解

- 10 3) キリストが命じられたから。
- 1 3) 敬意を表わす。
- 9 3) 神よりの赦しを得るもの。
- 2 1) 神に栄光を帰す。
- 8 1) キリストが命じられたから。
2) 信者。
3) キリストのみ業を意味。
- 3 4) 不敬虔な生活をする。
- 7 死。 葬られたのです。 よみがえられた。 新しい歩み。
- 4 賛美。 礼拝。
- 6 1) 霊的。
2) 御霊。
- 5 敬虔な生活をする。
賛美。 祈り。 歌。 ささげ物。

記入欄

記入欄

記入欄

- この聖書通信講座に使用しました聖書の引用は、すべて〔日本聖書刊行会〕新改訳聖書からです。

教 会

第2回分

1986年11月20日 第1版印刷発行

©1978 ICI

著 者 D ・ D ・ ス ミ ー ト ン

翻 訳 者 中 沢 イ サ ク

発 行 所 国 際 聖 書 通 信 学 院

〒170 東京都豊島区駒込 3-15-20

印 刷 所 新 生 運 動

〒352 埼玉県新座市石神 1-9-34

落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。 版權所有 D/1986/2145/23

I

6

学習レポート問題集

教会



国際聖書通信学院

学生名 _____

注 意

あなたが第1課—第4課までを学び終えたら、この学習レポート問題集の「第1課—第4課の学習課題」の部分の質問に答えることができます。あなたの解答は、解答用紙 第1部 に書いて下さい。

第5課—第8課を学び終えたら、この学習レポート問題集の「第5課—第8課の学習課題」の部分の質問に答えることができます。あなたの解答は、解答用紙 第2部 に書いて下さい。

書き終わったそれぞれの解答用紙を、国際聖書通信学院にすみやかに返送して下さい。あなたの学習レポート問題集は返送する必要はありません。

初めにそれぞれの解答用紙にのっている例題をやってみて下さい。この例題から全部の質問に答える方法がわかります。

学習レポート問題集

第1部

第1課 — 第4課

質問に答える際には、解答用紙の番号と、この問題集の番号とが、食い違わないように気をつけて下さい。

正誤問題

以下の文を読み、正しい場合は①を黒くぬりつぶし、誤っている場合は②を黒くぬりつぶして下さい。

- 1 神はこの世界をお造りになったとき、同時に、私たちをも選ばれた。
- 2 私たちは、イエスが再び来られるときがいつか、はっきりと知ることができる。
- 3 教会を組織化する方法はいくつかある。
- 4 「教会」という言葉は、信徒の地域的集まりのことだけを意味する。
- 5 教会の超自然的な性質は聖霊からくる。
- 6 回心と悔い改めは同じ意味である。

- 7 神の教会の一員になるには、人は新しく生まれねばならない。

選択問題

以下の各問題には、正しい答えが一つあります。正しいと思うものを選んで、解答用紙の○部分を黒くぬりつぶして下さい。

- 8 エペソ 3 : 8—10から、天にある支配と権威に対して、
_____を通して、神の知恵が示される。
- 1) 聖書。
 - 2) 地上の支配者たち。
 - 3) 教会。
- 9 パウロは、エペソ人 3 : 8—10で、_____が彼の特権
であると言っている。
- 1) 神の計画を人々に説明すること。
 - 2) 神の奥義を理解すること。
 - 3) 天にある権威をもって支配すること。
- 10 クリスチャンが苦難に会うとき、_____ことを心にとめるべきである。
- 1) 特別な人だけが苦しみに会う。
 - 2) 人々に苦悩を与えるのは悪魔である。
 - 3) キリストとともに、やがて栄光を受ける。
- 11 「教会」は、_____生まれたのである。
- 1) コンスタンチヌス皇帝が公認したから。
 - 2) 聖霊が来たから。
 - 3) キリストが天に帰られたから。

- 12 マルチン・ルターは、信仰によってのみ神との正しい関係をもつ、と人々に言いました。その意味は _____ である。
- 1) 神の恩恵を受けることはできない。
 - 2) 人々はプロテスタント教徒になるべき。
 - 3) 伝統や慣習で導かれるものではない。
- 13 神は新しい教会の運動を起こされる。その理由は――。
- 1) 教会の中には数多くの民族がいるから。
 - 2) ただ一つの組織だけが正しいから。
 - 3) みことばでいくつかの真理はまだ示されていないから。
- 14 パウロの時代には、「教会」の意味は、
- 1) 建造物のこと。
 - 2) 宗教的集まりのこと。
 - 3) 呼び出された者たちのこと。
- 15 地域教会や合同の教会は、 _____ 人々から成り立つのである。
- 1) 神によって呼び出された。
 - 2) 同じ組織に属する。
 - 3) 同じ民族の。
- 16 I テサロニケ 1：1 から、テサロニケの教会は _____ に属していると理解できる。
- 1) パウロ。
 - 2) テサロニケ人。
 - 3) 神。
- 17 アンナは、生けるまことの神に仕えるため、祖先崇拜から離れることに決めた。この場合、彼女の決心を最もよく表わす言葉は何か。

- 1) 不信仰。
 - 2) 悲哀。
 - 3) 悔い改め。
- 18 山田さんは、クリスチャンになるには何が必要かを知りたいと願っている。あなたならどう助けられるか。
- 1) ヨハネ 3 : 3—7 から、新しく生まれる必要を言う。
 - 2) クリスチャン・ホームに生まれていれば、クリスチャンになることは容易であると言う。
- 19 弟子、聖徒、兄弟、クリスチャンなどの言葉は、どのような人のことを言うのか。
- 1) 神の真実な教会の会員である人。
 - 2) 回心してから長い年月がたっている人。
 - 3) 同じ組織に属している人。

全体質問

以下の質問で「はい」の場合は①を、「いいえ」の場合は②を黒くぬりつぶして下さい。

- 20 あなたは第1課—第4課を注意深く読みましたか。
- 21 あなたは第1課—第2課の「自習のために」を全部やりましたか。
- 22 あなたは第3課—第4課の「自習のために」を全部やりましたか。
- 23 あなたは「自習のために」で出した答えを、各課の終わりに出ている正解とくらべてチェックしてみましたか。
- 24 あなたは各課にある、それぞれの「学びの目的」を学ぶとき、指示されている通りの復習ができましたか。

第1課—第4課はこれで終わりです。ここでレポートの解答用紙をお送り下さい。続いて第5課に入って下さい。

学習レポート問題集

第2部

第5課 — 第8課

質問に答える際には、解答用紙の番号と、この問題集の番号とが、食い違わないように気をつけて下さい。

正誤問題

以下の文は正しいか、誤っているかのどちらかです。もし正しい場合は①を黒くぬりつぶし、誤っている場合は②を黒くぬりつぶして下さい。

- 1 聖書は、教会を多くのものにたとえている。
- 2 もしも教会に統一性があれば、クリスチャンすべてが全く同じようである。
- 3 交わりとは単に、食事を共にするという意味である。
- 4 神は、私たちが懲らしめることで、私たちに愛を示される。
- 5 クリスチャン生活は、他の人々が善悪をわきまえられるように影響を与えることができる。
- 6 宣教の大命令は、福音を宣べ伝えるために神が召された人々にのみ与えられたものである。

- 7 真の礼拝とは、単に賛美を歌う、祈りをする、献金をすることである。

選択問題

以下の各問題には、正しい答えが一つあります。正しいと思うものを選んで、解答用紙の○部分を、選んだ番号に従って黒くぬりつぶして下さい。

- 8 イエス・キリストは教会のかしらと呼ばれている。その理由は、
- 1) 人間のからだは頭がなくては生きられないから。
 - 2) 大勢の人々が教会に属しているから。
 - 3) 神は教会に生命と導きを与えられるから。
- 9 エペソ 1 : 22—23によると、だれがキリストを立てて教会の主とされたのか。
- 1) 神。
 - 2) 十二使徒。
 - 3) 教会。
- 10 エペソ 4 : 25には、信徒はお互いに信頼し合わなければならない、とある。その理由は、
- 1) 偽ることは不可能だから。
 - 2) お互いがキリストのからだの一部分だから。
 - 3) 信頼しあうことは容易だから。
- 11 クリスチャンがお互いを建て合うなら、お互いの目的は達成される。その理由は、
- 1) 彼らがどんなに霊的であるかを、他の人々が認める

から。

- 2) 他の人々によってほめられるから。
 - 3) からだか、あるいは教会を建設するから。
- 12 教会はどういったときに建て上げられるか。
- 1) すべての信徒が好みそのまま建てる時。
 - 2) 信徒が互いに、愛をもって励まし合う時。
 - 3) からだのすべての部分が完全である時。
- 13 潔められるとは、どういう意味か。
- 1) 神のために選び出されること。
 - 2) 特別な儀式に加わること。
 - 3) 教会に何の必要もないこと。
- 14 ニッキーの物語から、人が悪に対抗する光となることができるのは、どういうときか。
- 1) 教育を受けた時。
 - 2) 必要のある人々を助けるだけのお金を得た時。
 - 3) キリストによって彼の人生が変わった時。
- 15 使徒13：1—3によると、神のみ業をさせるためにサウロとバルナバを召したのはだれか。
- 1) 預言者たち。
 - 2) 聖霊。
 - 3) 教師たち。
- 16 教会が働き人を支えると言うとき、その意味は教会が何によって働き人を助けるのか。
- 1) 祈りと献金によって。
 - 2) 彼らを仕事につかせることによって。
 - 3) 時々、彼らのことを思い出すことによって。

- 17 水のバプテスマの儀式としての意義は何か。
- 1) 人が罪から救われること。
 - 2) 人が二度と罪を犯さなくなること。
 - 3) 人がキリストにある新しい生活を見いだした行為を証しすること。
- 18 ヘブル13：15によれば、キリストを通してするクリスチャンのいけにえとは何か。
- 1) 神を賛美すること。
 - 2) 自己を否定すること。
 - 3) バプテスマを受けること。
- 19 聖餐式とは信者が一人で行なうべきものではない。その理由は、
- 1) 牧師だけが聖餐式をすることができるから。
 - 2) 聖餐式は、信者がまるで一つのからだのように、一体になることを示すものだから。
 - 3) そんなことをすれば、他の人から批判されるから。

全体質問

第5課—第8課

以下の質問で、「はい」の場合は①を、「いいえ」の場合は②を黒くぬりつぶして下さい。

- 20 あなたは第5課—第8課を注意深く読みましたか。
- 21 あなたは第5課—第6課の「自習のために」を全部やりましたか。
- 22 あなたは第7課—第8課の「自習のために」を全部やりましたか。
- 23 あなたは「自習のために」で出した答えを、各課の終わりにある「正解」とくらべて、チェックしてみましたか。
- 24 あなたは各課にある、それぞれの「学びの目的」を学ぶとき、指示されている通りの復習ができましたか。

第5課—第8課はこれで終わりです。ここでレポートの解答用紙をお送り下さい。あなたはこの学習課程を終わられましたが、国際聖書通信学院が用意しています他のコースを、学ばれるようお勧めします。

記入欄

発行所

国際聖書通信学院

〒170 東京都豊島区駒込 3-15-20

国際聖書通信学院

クリスチャンの生活 学習課程

解答用紙 第一部

学習課程名.....
 (ハッキリと階書で書いて下さい)

空白欄に必要事項を書き込んで下さい。

受講登録番号.....

氏名.....

住所 〒.....

年齢.....性別.....

職業.....

家族は何人ですか。.....

あなたが属しておられる教会名をお書き下さい。

.....

教会であなたはどのような責任をもっておられますか。

.....

どのようにこの学習課程を学んでおられますか。

ひとりで.....グループで.....

他に学ばれた学習課程は.....

次の頁の質問に全部答えて下さい。

この解答用紙のマークのつけかた。

下記の例を通して、どのように答えをえらび、この解答用紙にマークをつける方法がわかります。質問には2種類あります。正誤問題と選択問題です。

正誤問題の例

次の間に正しいか誤りかを明記します。もしもその間が、
正しい であれば ——①を黒くぬりつぶして下さい。
誤り であれば ——②を黒くぬりつぶして下さい。

1. 聖書は私たちへの神のメッセージである。

この質問の場合、聖書は私たちへの神のメッセージである は、正しいのです。ですからあなたは①のところを次のように、黒くぬりつぶして下さい。

1. ● ② ③

選択問題の例

次の問の中から最適な答えをえらびます。

2. 新生の意味について。

- 1) 年齢的に若返ること。
- 2) イエスを救い主として受け入れること。
- 3) 新しい年を始める。

正しい答えは、②イエスを救い主として受け入れること なので、そこであなたは ②にこのように黒くぬりつぶして下さい。

2. ① ● ③

さて、あなたはこの解答用紙を書くためには、学習レポート問題集、第1部の質問を読んで、例題で示されているように答案を作して下さい。正しい答えを選び黒くぬりつぶして下さい。

それぞれの番号順にしたがって、正しい答えに黒くぬりつぶして下さい。

- | | | |
|-------|----------|----------|
| ① ② ③ | 9 ① ② ③ | 17 ① ② ③ |
| ① ② ③ | 10 ① ② ③ | 18 ① ② ③ |
| ① ② ③ | 11 ① ② ③ | 19 ① ② ③ |
| ① ② ③ | 12 ① ② ③ | 20 ① ② ③ |
| ① ② ③ | 13 ① ② ③ | 21 ① ② ③ |
| ① ② ③ | 14 ① ② ③ | 22 ① ② ③ |
| ① ② ③ | 15 ① ② ③ | 23 ① ② ③ |
| ① ② ③ | 16 ① ② ③ | 24 ① ② ③ |

次の質問について、それぞれ答えにマークをつけて下さるように願ひ致します。あなたが卒直に感じられたことにお答え下さい。

- | | |
|------------------|-------------------|
| これらの学習に関する題材は | 2. 私には教えられた |
| 1) 大変興味がある。 | 1) 大変に価値があった。 |
| 2) 興味をそそるものである。 | 2) いくらかは。 |
| 3) 少し興味がある程度である。 | 3) ほんの少しだけ。 |
| 4) 興味はない。 | 4) 新しいものは何も得なかった。 |
| 5) うんざりしている。 | |
| 私には何が教えられたかは、 | 4. これらの学習は、 |
| 1) 大変に役に立った。 | 1) 大変むつかしかった。 |
| 2) 役に立った。 | 2) むつかしかった。 |
| 3) 役に立たなかった。 | 3) やさしい。 |
| 4) 時間の無駄なだけである。 | 4) 大変やさしい。 |

5. これらの学習をまとめてみると。

- 1) よくできている。
- 2) よかった。
- 3) 悪くない。
- 4) やる気がなかった。

6. ここでひとことでけっこうですからこの学習
について何か書いて下さい。

.....
.....
.....

何か他に聞きたいことがあれば、何でもお書き
下さい。

.....
.....

この解答用紙のすべての質問に答えたかどうか、もう一度確認
して下さい。それから下記の住所にお送り下さい。

あて先は、

〒170 東京都豊島区駒込 3-15-20
国際聖書通信学院

国際聖書通信学院

クリスチャンの生活 学習課程

解答用紙 第二部

習課程名.....
(ハッキリと階書で書いて下さい)

空白欄に必要事項を書き込んで下さい。

受講登録番号.....

氏 名.....

住 所 〒.....

.....

.....

他の案内についてのお問い合わせは

この他の聖書通信講座の内容と費用などについての案内が必要で
たら、よろこんでお送り致します。下記の空欄を御利用下さい。

.....

.....

.....

.....

次の頁の質問に全部答えて下さい。

この解答用紙のマークのつけかた。

下記の例を通して、どのように答えをえらび、この解答用紙にマークをつける方法がわかります。質問には2種類あります。正誤問題と選択問題です。

正誤問題の例

次の問に正しいか誤りかを明記します。もしもその問が、
正しい であれば ——①を黒くぬりつぶして下さい。
誤り であれば ——②を黒くぬりつぶして下さい。

1. 聖書は私たちへの神のメッセージである。

この質問の場合、聖書は私たちへの神のメッセージである は、正しいのです。ですからあなたは①のところを次のように、黒くぬりつぶして下さい。

1. ● ② ③

選択問題の例

次の問の中から最適な答えをえらびます。

2. 新生の意味について。

- 1) 年齢的に若返ること。
- 2) イエスを救い主として受け入れること。
- 3) 新しい年を始める。

正しい答えは、②イエスを救い主として受け入れること なので、そこであなたは ②にこのように黒くぬりつぶして下さい。

2. ① ● ③

さて、あなたはこの解答用紙を書くためには、学習レポート問集、第1部の質問を読んで、例題で示されているように答案を作して下さい。正しい答えを選び黒くぬりつぶして下さい。

それぞれの番号順にしたがって、正しい答えに黒くぬりつぶして下さい。

- | | | |
|-------|----------|----------|
| ① ② ③ | 9 ① ② ③ | 17 ① ② ③ |
| ① ② ③ | 10 ① ② ③ | 18 ① ② ③ |
| ① ② ③ | 11 ① ② ③ | 19 ① ② ③ |
| ① ② ③ | 12 ① ② ③ | 20 ① ② ③ |
| ① ② ③ | 13 ① ② ③ | 21 ① ② ③ |
| ① ② ③ | 14 ① ② ③ | 22 ① ② ③ |
| ① ② ③ | 15 ① ② ③ | 23 ① ② ③ |
| ① ② ③ | 16 ① ② ③ | 24 ① ② ③ |

次の質問について、それぞれ答えにマークをつけて下さるように願ひ致します。あなたが卒直に感じられたことにお答え下さい。

- これらの学習に関する題材は
- | |
|------------------|
| 2. 私には教えられた |
| 1) 大変興味がある。 |
| 2) 興味をそそるものである。 |
| 3) 少し興味がある程度である。 |
| 4) 興味はない。 |
| 5) うんざりしている。 |

- 私には何が教えられたかは、
- | |
|---------------|
| 4. これらの学習は、 |
| 1) 大変むつかしかった。 |
| 2) むつかしかった。 |
| 3) やさしい。 |
| 4) 大変やさしい。 |

5. これらの学習をまとめてみると、
- 1) よくできている。
 - 2) よかった。
 - 3) 悪くない。
 - 4) やる気がなかった。
6. この他のコースを学んでみたいですか。
- 1) はい やってみたい。
 - 2) はい まあやってみたい。
 - 3) いいえ やる気はない。
 - 4) いいえ 全然やる気がない。
7. ここでひとことだけこうですからこの学習
について何か書いて下さい。

.....

.....

おめでとうございます。

あなたはこの学習課程を終わられました。よく学びを今まで所
で続けてこられたことうれしく思います。国際聖書通信学院が用
しています他のコースを、学ばれるようおすすめします。この解
用紙を当学院まで、またはあなたの管轄の事務局にお帰し下さい。
あなたの解答用紙を添削して、修了証か修得証明書を、お送りさ
させていただきます。

受講登録番号.....

氏 名.....

住 所 〒.....

.....